

学生便覧

STUDENT HANDBOOK

2026年度

必ず履修手続きを行って下さい。

Please submit the following form for course registration.

提出物 What to Submit

■学修計画書 Study Plan

提出期限 Submission Deadline

医科学・医学教育コース 4月17日（金） April 17(Friday)

Department of Medical Science・Department of Medical Education

公衆衛生コース 4月6日（月） April 6(Monday)

Public Health Course

提出先 Where to Submit

医学部・医学系研究科学務課大学院係

Student Affairs Division Graduate School of Medicine

名古屋大学大学院医学系研究科

修士課程

医科学専攻

Nagoya University Graduate School of Medicine

Master's Course

Department of Medical Science

歓迎の辞

名古屋大学大学院 医学系研究科
大学院教育委員会委員長

修士課程医科学専攻へのご入学おめでとうございます。これからの医学の発展には、皆様のように医学以外の分野で学問を修められた方々の力が必要不可欠です。皆様が私達と一緒に未来の医学の発展に寄与されることを大変心強く思っています。

医学の目的は、健康という側面から人類の平和で豊かな生活の実現に貢献することです。医学系研究科の使命は、この目的を実現するために、医学・医療の発展と人材育成に寄与することです。附属病院においては、これらの成果を実践に役立ててきました。その意味で、医学系研究科は学問と実践が一体化した特別な場所とすることができます。

近年のゲノム科学や情報科学（インフォマティクス）の進歩によって、基礎生命科学の成果が直接医療の現場で役に立つ時代となりました。個人のゲノム情報に基づいて、その人に最適の医療が可能になる個別化医療が現実のものとなっています。多くを経験と直感に頼っていた医療が、科学的事実に基づいて実践される時代になったのです。しかしながら、このような医療が本当の意味で科学に基づくものになるためには、遺伝子の産物である蛋白質が生きた細胞の中でどのような相互作用（ネットワーク）を介して機能を発揮するのか、あるいは、生活習慣のような後天的要因がどのように遺伝子の発現や蛋白質の機能に関与するのかなど、解くべき問題は山積しています。一方、遺伝子診断や遺伝子治療だけが先端医療のすべてではありません。核酸医薬や抗体医薬、細胞工学に基づいた細胞療法や再生医療、AIや機械学習に基づいた医薬品開発や診断支援、ロボット工学に基づいた機能支援や手術支援など、先端の科学技術の成果を取り入れた診断・治療技術も目覚ましい進歩を遂げつつあります。その反面、個別化医療に伴うプライバシーの保護や生命倫理的問題、あるいは高齢化社会への移行に伴う、高齢者のQOL（quality of life）など、これまで以上に医療と人権・家族・社会の関係に根ざす複雑な問題が増加しています。いまや医学は、理学、工学、薬学、農学、あるいは人文科学との有機的連携なしには完結し得ない総合科学になっています。ここに、皆さんのように多彩な背景を持ち、かつ医学に興味を抱いている若人の活躍の場があります。

大学院は、4年間の大学生活の経験をもとに自らの将来設計を見据えて能動的・積極的に学ぶ場所と心得てください。我々は、最低限のメニューを用意しますが、そこから先は、まさに皆様のやる気と頑張りにかかっています。皆様が有意義な2年間を過ごされ、その成果を更に発展させるべく博士課程に進学されて、有能な研究者、教育者、技術者として社会に巣立っていかれることを心より念じております。

医学系研究科修士課程の教育を支える3つの方針

修了認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

(1) 育成する人材像（教育目標）

医学系研究科修士課程は、科学的論理性と倫理性・人間性に富み、豊かな想像力・独創性と使命感を持って医学研究および医療を推進する人を育てます。

以下に示す資質・能力等を備え、修了資格を満たした者に、課程の修了を認定し、学位を授与します。

医科学コース

「医科学分野の研究者・専門家として、医学と関連諸科学の専門知識を兼ね備え、次世代の医科学研究を担うことができる」

公衆衛生コース

「公衆衛生の専門家や、包括的リスク管理・リスク評価のできる専門家として、国内外のパブリックヘルスの課題について、科学的に調査・分析し、科学的根拠に基づいて施策を立案し遂行できる」

医学教育コース

「医学教育学分野の専門家・研究者として、医師・医療者の教育に関する事象を教育学の用語を用いて適切に言語化し、自身の関わる教育活動を多面的な視点で省察し、また必要に応じて改善することができる」

(2) 卒業、修了判定時に課している基準（必要要件）

原則として2年以上在学し、医学系統講義、医学基礎実習、医科学講義、および医科学セミナー・医科学実験研究等について所定の30単位以上を修得した者に対して、このような資質や能力が育成されたものと総合的に判断し、修士の学位を授けま

(3) 修士学位論文の審査基準

修士論文の審査では、以下の項目について総合的に評価します。(1)学位申請者が主体的に取り組んだ研究成果であること。(2)目的・方法・結果・考察等が明瞭的確に記述されていること。(3)学位申請論文が学術的意義・新規性等を有していること。(4)学位申請者が当該分野において幅広い専門的知識、倫理性等を有していること。

教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

医学系研究科は、「科学的論理性と倫理性・人間性に富み、豊かな創造力・独創力と使命感をもって医学研究および医療を推進する人を育てる」ことを大学院教育の基本方針としています。

修士課程では、医学の基礎と応用を体系的に教育することで、医学や医療の分野で高い学識をもって活躍できる人材を育成します。その実現のため、下記の施策を実施しています。

医科学専攻・修士課程の教育プログラム

4つのコースを置き、広く医学リテラシーの修得を目指した教育を行うとともに、それぞれのコースに適した医学の基礎知識および応用法を体系的かつ集中的に教育します。

- (1) 医科学コースでは、医学と関連諸科学の専門知識を兼ね備えた、次世代の医科学研究を担う人材を養成するため、体系的な医学教育を行うとともに医科学研究のトレーニングを行います。また、各専門分野ごとにセミナーおよび実験研究を履修し、医科学分野の研究者・専門家となるための研究指導を行います。
- (2) 公衆衛生コースでは、国内外のパブリックヘルスの課題について、科学的に調査・分析し、科学的根拠に基づいて施策を立案し遂行できる公衆衛生の専門家や、包括的リスク管理・リスク評価のできる専門家を養成するため、公衆衛生の基礎知識とデータ解析の修得を目指した教育を行います。また、各専門分野ごとにセミナーおよび実験研究を履修し、公衆衛生分野の研究者・専門家となるための研究指導を行います。
- (3) 医学教育コースでは、医師・医療者の教育に関する事象を教育学の用語を用いて適切に言語化できるようになるため、医学教育学全般に関する体系的な教育を行います。また、自身の関わる教育活動を多面的な視点で省察し、必要に応じて改善できるようになるため、教育事例検討等を行います。さらに、医学教育学分野の研究を実施できるようになるため、研究指導を行います。

以上各コースプログラムを履修することにより、総合的に基本方針に示される人材像の研究者・専門家を養成します。

学習成果の評価の方針

・レポート、口頭発表など、各授業においてシラバスで定める方法により、単位認定をおこなうとともに、「修士論文」の指導を通じて、ディプロマ・ポリシーで掲げた能力が身についたことを確認します。

入学者受入れ・選抜の方針（アドミッション・ポリシー）

(1) 入学者受入れの方針

豊かな人間性、高い倫理性、科学的論理性を備え、創造力に富む医学研究者・高度専門技術者へと成長するために必要な能力と資質を備えた学生を求めています。そのために、十分な基礎学力のみならず、知的好奇心や科学的探究心をもって新たな分野を開拓する意欲を持ち、物事を多面的に捉え深い洞察力を持って発展させることができる思考力を有した入学者を選抜します。

(2) 選抜の基本方針

十分な基礎学力と専門知識を持ち、将来、医学研究者・高度専門技術者として活躍する意欲と能力、資質を備えた人物を選抜します。多様な分野から視野の広い人材を集めるため、出願書類や口頭試問により医学・生命科学の分野に留まらない、研究者として必要な学力や語学力を評価します。また、知的好奇心や科学的探究心をもって新たな分野を開拓する意欲、物事を多面的に捉え深い洞察力を持って研究を進展させることができる思考力を評価します。

名古屋大学ホームページより<http://www.nuqa.nagoya-u.ac.jp/policies/m.html>

目 次

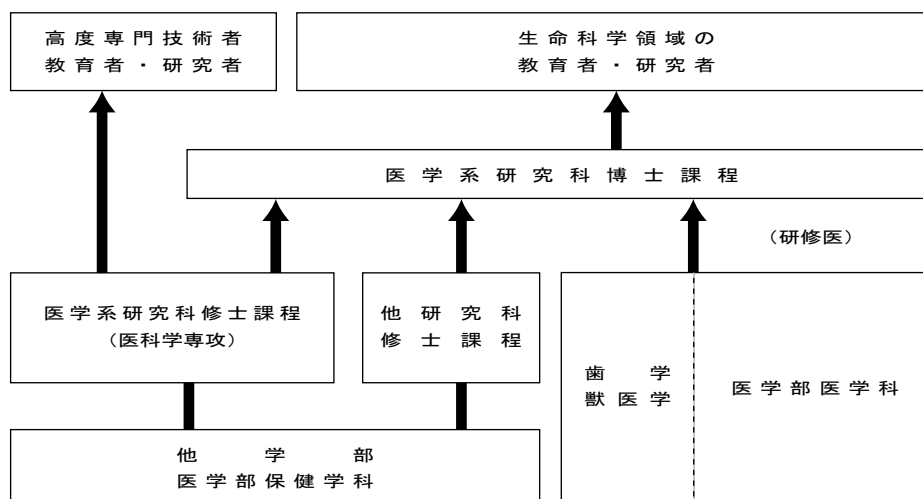
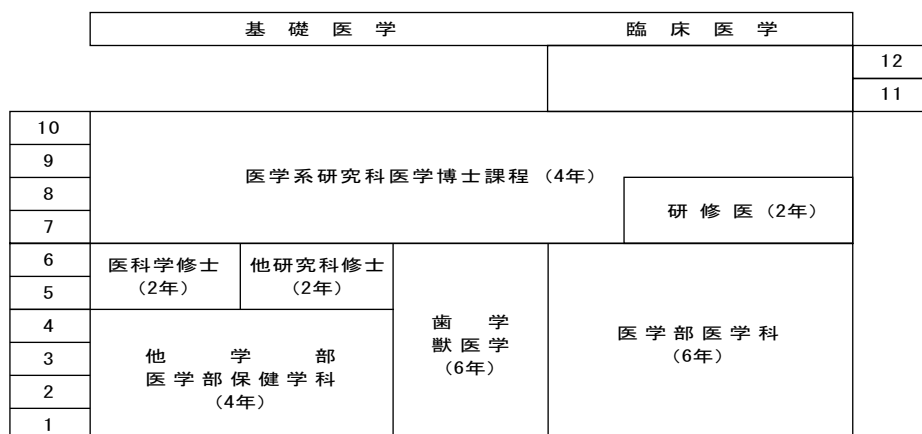
歓迎の辞	表紙裏
医学系研究科修士課程の教育を支える3つの方針	1
大学院医学系研究科修士課程医科学専攻の概要	4
I. 履修ガイド (医科学コース Medical Science)	
1.履修手続きについて	7
2.授業科目の講義の内容	9
II. 履修ガイド (公衆衛生コース Public Health)	
1.履修手続きについて	15
III. 履修ガイド (生物系プログラム Biological & Bioagricultural Sciences Graduate Program)	
Course Registration Procedures	21
IV. 履修ガイド (医学教育コース Medical Education)	
1.履修手続きについて	25
V. 研究倫理について	27
VI. 修士の学位論文について	31
VII. キャンパスライフ	
1.各種証明書及び学割証等	37
2.各種諸手続き等	38
3.各種奨学金及び授業料免除等	39
4.学生教育研究災害障害保険・学研災付帯賠償責任保険	41
5.定期健康診断等	42
6.就職	43
7.本学から給与・謝金・旅費を受給する際の注意	44
8.医学部内共通研究施設	46
アイソトープ総合センター分館	
附属医学教育研究支援センター実験動物部門	
附属医学教育研究支援センター分析機器部門	
附属図書館利用案内	
VIII. 規定・その他	
1.名古屋大学大学院医学系研究科規程	55
2.博士課程・修士課程の組織体制	86

大学院医学系研究科修士課程医科学専攻の概要

遺伝子治療や臓器移植、あるいは核磁気共鳴映像 (MRI) に代表されるような現代の医学と医療の急速な展開は、分子生物学、免疫学、あるいはエレクトロニクスなどの広範な科学や技術の発展の上に成立している。先端諸科学の成果が直接医療に結びつく時代になってきたのである。このことは、現代の医学が、経験重視の科学から理論に立脚した科学への発展段階にあることを示しており、この傾向がますます加速されることに疑いの余地はない。さらに、臨床薬剤師、移植コーディネーターなどの新しいエキスパートが生まれ、また、医学の基礎知識のある高度な技術者がバイオインダストリーにおいて要請されている。21世紀の医学を支えるには関連諸科学と医学の基本を身に付けた人材の育成が極めて重要かつ緊急の課題となっている。

本医科学専攻修士課程では、医学科、歯学科、獣医学科以外の学科で多様な専門分野を学んだ学生に対して、広く医学の基礎およびその応用法を体系的かつ集中的に教育し、将来医学の先端的な研究推進に貢献しうる研究者・教育者を養成することを主たる使命とするとともに、臨床医学、労働衛生、スポーツ医科学、臨床薬学、医療事業組織マネジメント等の方面で専門的な学識を持って活躍できる人材の養成に資することを目的とする。

大学院医学系研究科修士課程 医科学専攻の入学から修了までの概念図



I . 履修ガイド（医科学コース）
Course Registration Guide
(Medical Science Course)

履修手続きについて

入学者は、「学修計画書」を作成の上、期日までに大学院係に提出してください。なお、学修計画書を作成する際には、以下のことに留意してください。

《医学系研究科の授業科目の区分、修了するのに必要な単位数について》

修士課程教育課程表

区分	授業科目	授業形態	単位数	開講時期			
				1年次		2年次	
				前期	後期	前期	後期
必修科目	人体形態学	講義	2単位	○			
	人体機能学	講義	2単位	○			
	病理病態学	講義	2単位	○			
	社会医学	講義	2単位	○			
	臨床医学概論	講義	2単位	○			
	医科学セミナー	演習	8単位	○	○	○	○
	医科学実験研究	実験・実習	8単位	○	○	○	○
	医科学講義	講義	2単位		○	○	○
	医学基礎実習	実験・実習	2単位	○	○	○	○

① 人体形態学、人体機能学、病理病態学、社会医学、臨床医学概論について

上記5科目は、4月から3か月間の間に集中して行います。時間割については、別に通知します。

② 医科学セミナー・医科学実験研究について

医科学セミナー・医科学実験研究の2科目は、学生配属先の研究室で、基礎的な研究方法と個々の学生の研究課題に即した実験・実習を行います。

(注) 各授業科目の単位の計算基準は、下記により取り扱います。

講義および演習は毎週1週間15週をもって1単位とする。

実験・演習は毎週2時間15週をもって1単位とする。

③ 医学基礎実習について

医学基礎実習の各授業は、1・2年次生を対象に行います。各科目は、博士課程の授業科目「基盤医科学実習(ベーシックトレーニング)」の中で行います。基盤医科学実習の中から、研究課題に応じて4つのコースを各実験手法コース郡(遺伝子操作実験法、細胞機能の解析法、形態観察実験法、動物実験研究法、Bioinformatics 研究法/データサイエンス研究法、分子解析研究法、その他)のうち2郡以上にわたって履修してください。必ず、基盤医科学実習修士課程学生向け実験手法コース郡一覧を確認の上、受講コースの組み合わせに留意してください。

※ 同じコースの2回以上の履修は修了要件となりません。

○ 申込み・受講方法

各コースの履修にあたっては、医学系研究科大学院生ページ(SharePoint)を参照の上、以下の指定期間中に、ウェブ申込みを行ってください。申込・履修にあたっての注意事項・方法等の情報もSharePointで確認できますので、よく読んでおいてください。

授業の詳細は、各担当教員までお問い合わせください。



④ 医科学講義について

医科学講義(学部の授業)の各科目は、高度な基礎・臨床医学の授業を行います。履修方法は指導教員と相談の上、研究課題に応じた科目を原則 2コース選択し履修してください。各コース8回以上を受講すること。なお、各授業科目の内容・日程は、学部シラバスを参照ください。

「学修計画書」を作成の際には、当該年度医科学講義担当教員一覧の総括責任者の認印を受けてください。

⑤ コースナンバリング

本学ではカリキュラムの体系性を明示し、海外大学との単位互換等において、どの学年、もしくはどのレベルの科目かなど、授業科目の位置付けを明確にすることで、カリキュラムの国際通用性を高めるために全ての授業科目に10桁の英数字を付しています。医学系研究科医科学専攻における授業科目のコースナンバリングは次のとおりです。

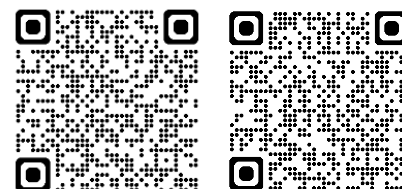
人体形態学……MED-LC-5-001-E
人体機能学……MED-LC-5-002-E
病理病態学……MED-LC-5-003-E
社会医学……MED-LC-5-004-E
臨床医学概論…MED-LC-5-005-E

医科学セミナー……MED-SE-6-001-B
医科学実験研究……MED-ER-6-001-B
医科学講義……MED-LC-6-001-B
医学基礎実習……MED-BT-6-001-B

⑥ その他

大学院係より大学院学生へのお知らせは、以下に掲載しますので、必ず定期的に参照してください。

- WEB 掲示板「名古屋大学医学系研究科 大学院生へのお知らせ」
- SharePoint ページ「医学系研究科 大学院生へのお知らせ」



WEB 掲示板

SharePoint

授業科目の講義等の内容

授業科目名	講義棟の内容
人体形態学	人体の正常な構造に関する知識を与えるとともに、医科学者として必要な観察眼を養成し、生体構造の精妙さと生命の尊さについて教示する。
人体機能学	人体の正常な機能についての生理学、生化学、分子生物学に加えて、脳神経学、薬理学の基礎知識を与え、人体の生命科学の基本について教示する。
病理病態学	病理学、感染症学、腫瘍病理学、免疫学、生態防御学の基礎知識を与えて病気の生態防御機構の基礎概念及び診断治療の原理について教示する。
社会医学	公衆衛生学、衛生学、予防医学、法医学、国際保健医療学に加え、加齢底学、臓器移植学、生命倫理学、健康増進医学の基礎知識を与え、社会と医学の望ましいかかわり方について教示する。
臨床医学概論	内科、外科、小児科等の代表的な臨床底学の基礎的知識を与えるとともに、診療の基本的あり方について教示する。
医科学セミナー	指導教員の所属する研究室のゼミに参加して、原著論文の解読法と基礎的な研究法等を修得させる。
医科学実験研究	教員の指導の下に、研究課題に即して実験・実習を行った上、修士論文を完成させる。

※各授業科目については必ずホームページを確認して下さい。

医学系研究科ホームページ(HPトップ→大学院教育→授業案内→シラバス・学生便覧)



Course Registration Procedures

All new students are required to prepare a "Study Plan" and submit it to the Graduate School Section by the deadline for students entering in the Spring Semester. Please keep the following points in mind when preparing your Study Plan.

About the Types of Class Subjects and Credits Required for Master's Programs in the Graduate School of Medicine

Master's Programs Curriculum Table for students entering in April

	Subject Name	Instructional Method	No. of Credits	Course Schedule			
				First Year		Second Year	
				Spring	Fall	Spring	Fall
Compulsory Subject	Morphology of Human Body	Lecture	2 Credits	○			
	Physiology of Human Body	Lecture	2 Credits	○			
	Molecular Pathology	Lecture	2 Credits	○			
	Social Life Science	Lecture	2 Credits	○			
	Introduction to Clinical Medicine	Lecture	2 Credits	○			
	Seminar on Medical Science	Seminar	8 Credits	○	○	○	○
	Experimental Research on Medical Science	Experiment / Practical Training	8 Credits	○	○	○	○
	Selected Topics in Basic Medicine (TOKURON)	Lecture	2 Credits	○	○	○	○
	Basic Training for Medical Science	Experiment / Practical Training	2 Credits	○	○	○	○

To complete the master's program, students must earn 30 credits from the compulsory subjects.

Ⅱ . 履修ガイド（公衆衛生コース） Course Registration Guide (Public Health Course)

履修手続きについて

公衆衛生コース入学者は、指導教授と相談し、別紙「学修計画書(公衆衛生コース)」を作成の上、期日までに大学院係に提出してください。なお、学修計画書を作成する際には、以下のことに留意してください。

《医学系研究科の授業科目の区分、修了するのに必要な単位数について》

① 必修科目 18 単位について

「社会医学」は、4月から約3か月間の間、毎週木曜午前に開講します。

「医科学セミナー」および「医科学実験研究」は、所属する研究室で基礎的な研究方法と個々の学生の研究課題に即した実験・実習を行います。

(注) 各授業科目の単位の計算基準は、以下により取り扱います。

講義および演習は毎週1時間15週をもって1単位とする。

実験・実習は毎週2時間15週をもって1単位とする。

② 選択必修科目(4つの各領域から2単位)について

「疫学・生物統計学」領域から2単位以上、「保健医療政策・管理学」領域から2単位以上、「環境保健科学」領域から2単位以上、「社会・行動科学」領域から2単位以上を修得する必要があります。

③ 共通4単位について

必修科目18単位、選択必修科目8単位(4領域から各2単位)以外に、4単位を選択科目または選択必修科目から修得する。②で1つの領域から2単位を超えて修得した単位は、本単位として認定することができます。

④ 選択科目について

「人体形態学、人体機能学、病理病態学、臨床医学概論」の4科目は、4月から約3か月間集中して開講されます。時間割については、別に通知します。

「医科学講義(学部の授業)」の各科目は、高度な基礎・臨床医学の授業を行います。履修方法は指導教員と相談の上、研究課題に応じ研究課題に応じた科目を原則2コース選択し履修してください。各コース8回以上受講すること。なお、各授業科目の内容・日程は、学部のシラバスを参照ください。

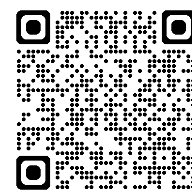
⑤ その他

大学院係より大学院学生へのお知らせは、以下に掲載しますので、必ず定期的に参照してください。

- WEB 掲示板「名古屋大学医学系研究科大学院生へのお知らせ」
- SharePoint ページ「医学系研究科大学院生ページ」



WEB 掲示板



SharePoint

Course Registration Procedures

All new students in the Public Health Course are required to consult with their supervisors, then complete the attached "Study Plan (Public Health Course and G30 Public Health Course)" and submit it to the Graduate School Section by the deadline for students entering in the spring semester and for students entering in the fall semester. Please keep the following points in mind when preparing your Study Plan.

About the Types of Class Subjects and Credits Required for Public Health Course in the Graduate School of Medicine

① 18 credits in Compulsory Subjects

“Social Life Science” is held every Thursday morning for three months starting in April.

“Seminar on Medical Science” and “Experimental Research on Medical Science” are held in the student’s lab/research room and cover basic research methods, experiments, and practical training tailored to students’ individual research projects.

Note: Each course’s credits are calculated as follows:

1) Lectures and seminars are counted as 1 credit for 1 hour each week for 15 weeks.

2) Experiments and practical training are counted as 1 credit for 2 hours each week for 15 weeks.

② Compulsory Elective Subjects (at least 2 credits from each of the following 4 fields):

Students are required to earn at least 2 credits from the field of “Epidemiology and Biostatistics”, at least 2 credits from the field of “Health Care Policy and Management”, at least 2 credits from the field of “Environmental Health Sciences” and at least 2 credits from the field of “Social Science and Behavioral Science”.

③ 4 Common Credits:

In addition to the 18 credits from Compulsory Subjects and 8 credits from Compulsory Elective Subjects, students are also required to earn 4 credits from Elective Subjects described below or Compulsory Elective Subjects. Any credits earned in excess of 2 credits from one field listed in Section ② can be approved as these credits.

④ Elective Subjects

The 4 subjects of Morphology of Human Body, Physiology of Human Body, Molecular Pathology, and Introduction to Clinical Medicine are held intensively for 2 months from April every year. The class timetable will be announced at a later date.

⑤ Others

Course information and other notices from the Student Affairs Division will be posted on the Online Notice Board and the SharePoint page. Please check it regularly.

Online Notice Board: <https://info.med.nagoya-u.ac.jp/keiji/login.php>

SharePoint Page: <https://thersacjp.sharepoint.com/sites/GraduateSchoolofMedicine>



Term Definitions

Subject: A subject is a category of academic study, such as compulsory or elective.

Course: A course is an individual unit of study offered within a subject

Lecture: A lecture is a single teaching session that is part of a course.



修士課程公衆衛生学プログラム教育課程表 Master of Public Health Program Curriculum Table

科目区分 Subject classification	領域 Field	授業科目 Subject Name	授業形態 Type of Class	単位数 Credits	Language (English)*	Course Numbering	
必修科目 Compulsory Subject		社会医学 Social Life Science	Lecture	2	○	MED-LC-5-004-E	
		医科学セミナー Seminar on Medical Science	Seminar	8	○	MED-SE-6-001-B	
		医科学実験研究 Experimental Research on Medical Science	Experiments & Practice	8	○	MED-ER-6-001-B	
選択必修科目 Compulsory Elective Subject	疫学・生物統計学 Epidemiology and Biostatistics	予防医学概論 Preventive Medicine	Lecture	1		MED-LC-5-501-J	
		統計解析実習 Practice of Basic Statistical Analysis	Experiments & Practice	0.5	○	MED-BT-6-502-B	
		医学統計実習 Practice of Statistical Methods in Medical Research	Experiments & Practice	0.5	○	MED-BT-6-503-B	
		疫学 Epidemiology	Lecture	1	◎	MED-LC-5-408-E	
		生物統計学 Biostatistics	Lecture	1	◎	MED-LC-5-409-E	
		疫学研究方法概論 Research Methods for Epidemiology and Health Science	Lecture	2		MED-LC-6-504-J	
		臨床統計学・レギュラトリーサイエンス Clinical Biostatistics and Regulatory Science	Lecture	1		MED-LC-6-505-B	
		応用統計解析実習 Advanced Statistical Analysis	Experiments & Practice	0.5	○	MED-BT-6-506-B	
		応用予防医学 Applied Preventive Medicine	Lecture	1	○	MED-LC-6-524-E	
	保健医療政策・管理学 Health Care Policy and Management	公衆衛生・国際保健概論 Public Health and Health Systems	Lecture	1		MED-LC-5-507-J	
		法医学概論 Legal Medicine	Lecture	1		MED-LC-5-508-J	
		医療行政基礎実習 Practice of Health Care Administration	Experiments & Practice	0.5	○	MED-BT-6-509-B	
		医療機関と医療職 Healthcare Service Facilities and Professionals	Lecture	2	◎	MED-LC-5-401-E	
		健康に関する行政法規 Administrative Regulations for Health	Lecture	1	◎	MED-LC-5-402-E	
		健康保険と医療経済 Health Insurance and Economics	Lecture	1	◎	MED-LC-5-403-E	
		病院管理学 Hospital Administration	Lecture	1	◎	MED-LC-5-404-E	
		地域保健学・国際保健医療学 Community Health and International Health	Lecture	1	◎	MED-LC-5-406-E	
		医事法制 Medical Law	Lecture	1	◎	MED-LC-5-410-E	
		保健医療システム概論 Introduction to Health Care System	Lecture	2		MED-LC-6-510-J	
		総合保健計画学特論 Advanced Topics on Total Health Planning	Lecture	2		MED-LC-6-511-J	
	環境保健科学 Environmental Health Sciences	グローバルヘルス概論 Introduction to Global Health	Lecture & Seminar	1	◎	MED-LC-6-525-E	
		環境衛生学概論 Environmental Health Science	Lecture	1		MED-LC-5-513-J	
		生体組織のメタロミクス解析実習 Practice of Metallomics Analysis of Biological Tissues	Experiments & Practice	0.5	○	MED-BT-6-514-B	
		感覚器の形態解析実習 Practice of Analyze Sensory Organs	Experiments & Practice	0.5	○	MED-BT-6-515-B	
		労働・環境衛生学 Occupational and Environmental Health	Lecture	1	◎	MED-LC-5-407-E	
		応用環境労働衛生学 Advanced Occupational and Environmental Health Science	Lecture	2	○	MED-LC-6-516-B	
	社会・行動科学 Social Science and Behavioral Science	生活環境と健康 Environment and Health	Lecture	1	◎	MED-LC-6-517-E	
		総合保健計画学実践論 Practical Topics on Total Health Planning	Lecture	2	○	MED-LC-6-512-J	
		質的解析法実習 Practice of Qualitative Analysis through KJ Methods	Seminar	0.5		MED-BT-6-518-J	
		精神健康医学実習 Practice of Psychopathology and Psychotherapy	Seminar	0.5		MED-BT-6-519-J	
		生命倫理学 Bioethics	Lecture	2		MED-LC-6-520-J	
		行動科学・医療社会人類学特論 Behavioral Science and Medical Anthropology	Lecture	1		MED-LC-6-521-B	
		応用社会・行動科学 Applied Social and Behavioral Science	Lecture & Seminar	2	◎	MED-LC-6-526-E	
		質的研究・質的分析の方法 Methods in Qualitative Research and Analysis	Lecture	2	○	MED-LC-6-522-B	
	選択科目 Elective Subject	共通科目 Common Subject	医学倫理特論 Ethics in Health Science	Lecture	0.5		MED-LC-6-523-J
			人体形態学 Morphology of Human Body	Lecture	2	○	MED-LC-5-001-E
人体機能学 Physiology of Human Body			Lecture	2	○	MED-LC-5-002-E	
病理病態学 Molecular Pathology			Lecture	2	○	MED-LC-5-003-E	
臨床医学概論 Introduction to Clinical Medicine			Lecture	2	○	MED-LC-5-005-E	
医科学講義 Medical Science			Lecture	2		MED-LC-6-001-B	
医学基礎実習 Basic Training for Medical Science	Experiments & Practice	2		MED-BT-6-001-B			

*「Language(English)」◎は原則英語のみ使用、○は英語・日本語両方併用です。

◎ indicates that ONLY English is used in principle, and ○ indicates that both English and Japanese are used.

グレー表示の講義は不定期開講。A Subject that is grayed out is held irregularly.

Ⅲ . 履修ガイド (生物系プログラム)
Course Registration Guide
(Biological and Bioagricultural
Sciences Graduate Program)

Course Registration Procedures

All new students are required to prepare a "Study Plan" and submit it to the Graduate School Section by the deadline for students entering in the fall semester. Please keep the following points in mind when preparing your Study Plan.

About the Types of Class Subjects and Credits Required for Biological and Bioagricultural Sciences Graduate Program in the Graduate School of Medicine

Biological and Bioagricultural Sciences Graduate Program Curriculum Table

Subject classification	Subject Name	Instructional method	No. of Credits	Course Schedule			
				First Year		Second Year	
				Fall	Spring	Fall	Spring
Compulsory Subjects	Core Topics in Biomedicine		10 Credits				
	Morphology of Human Body	Lecture			○		
	Physiology of Human Body	Lecture			○		
	Molecular Pathology	Lecture			○		
	Social Life Science	Lecture			○		
	Introduction to Clinical Medicine	Lecture			○		
	Biomedical Seminars		16 Credits				
	Seminar on Medical Science	Seminar		○	○	○	○
	Experimental Research on Medical Science	Experiment / Practical Training		○	○	○	○
Compulsory Elective Subjects	Selected Topics in Basic Medicine (TOKURON)	Lecture	2 Credits	○	○	○	○
	Basic Training for Medical Science	Experiment / Practical Training	2 Credits	○	○	○	○

To complete the master's program, students must earn 30 credits from the compulsory subjects.

① **Core Topics in Biomedicine (Morphology of Human Body, Physiology of Human Body, Molecular Pathology, Social Life Science and Introduction to Clinical Medicine):**

The above 5 subjects are held as 2-month intensive classes from April to June every year. The class timetable will be announced at a later date.

IV . 履修ガイド (医学教育コース)
Course Registration Guide
(Department of Medical Education)

履修手続きについて

医学教育コース入学者は、指導教授と相談し、別紙「学修計画書(医学教育コース)」を作成の上、期日までに大学院係に提出してください。なお、学修計画書を作成する際には、以下のことに留意してください。

《医学系研究科医学教育コースの授業科目の区分、修了するのに必要な単位数について》

区分	科目	授業形態	単位数	開講時期				コースナンバリング
				1年次		2年次		
				春学期	秋学期	春学期	秋学期	
必修科目	医学教育概論	講義	2	○	○			MED-LC-5-6-601-B
	教育と学修	講義	2	○	○			MED-LC-5-6-602-B
	学修者評価	講義	2	○	○			MED-LC-5-6-603-B
	カリキュラム開発	講義	2	○	○			MED-LC-5-6-604-B
	教育哲学	講義	2	○	○			MED-LC-5-6-605-B
	量的研究	講義	2	○				MED-LC-5-6-606-B
	質的研究	講義	2	○				MED-LC-5-6-607-B
	医学教育学セミナー I	演習	4		○			MED-SE-5-6-601-B
	医学教育学研究 I	演習	4		○			MED-SE-5-6-603-B
選択必修科目	医学教育学セミナー II	演習	4			○	○	MED-SE-5-6-602-B
	医学教育学研究 II	演習	4			○	○	MED-SE-5-6-604-B
	医学教育学特論 I	演習	4		○			MED-SE-5-6-605-B
	医学教育学特論 II	演習	4		○			MED-SE-5-6-606-B

① 必修科目22単位について

指導教員の指示に従い、時期に応じてすべての科目の履修を行ってください。「医学教育学セミナーI」及び「医学教育学研究I」は、所属する研究室で、基礎的な研究方法と個々の学生の研究課題に即したセミナー、研究を行います。

(注) 各授業科目に単位の計算基準は、以下により取り扱います。

講義および演習は毎週1時間15週をもって1単位とする。

② 選択必修科目について

「医学教育学セミナーII」及び「医学教育学研究II」の組み合わせ、または、「医学教育学特論I」及び「医学教育学特論II」の組み合わせのどちらかにより8単位以上習得してください。

③ コースナンバリング

本学ではカリキュラムの体系性を明示し、海外大学との単位互換等において、どの学年、もしくはどのレベルの科目かなど、授業科目の位置づけを明確にすることで、カリキュラムの国際通要請を高めるためにすべての授業科目に10桁の英数字を付しています。

医学教育コースにおける授業科目のコースナンバリングは上記に記載の通りです。

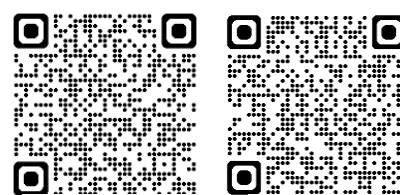
④ 履修証明プログラム「現場で働く教員・指導医のための医学教育学プログラム-基礎編-（通称：ふくみん）」での修得単位について

医学教育コースへの入学前に「ふくみん」修了による単位授与をされている場合、医学教育コースの必修科目の一部に読み替えが可能な場合があります。単位の読み替えを希望する者は、履修証明書（写し）を添えて、学修計画書提出期日までに提出ください。

⑤ その他

大学院係より大学院学生へのお知らせは、以下に掲載しますので、必ず定期的に参照してください。

- WEB 掲示板「名古屋大学医学系研究科 大学院生へのお知らせ」
- SharePoint ページ「医学系研究科 大学院生へのお知らせ」



WEB掲示板

SharePoint

V . 研究倫理について

Research Ethics and Integrity

研究コンプライアンスプログラム

このプログラムは、医学系研究者に求められる研究倫理に関してのリテラシーを養成し、人を対象とする臨床研究の研究計画や研究マネジメントで高い次元での貢献する能力を育成することを目指します。

このプログラムは e-learning コース「eAPRIN」により実施します。受講に関する詳細については、機構メールアドレスへお送りするメール宛てにご案内しますので、必ず1年生のうちに受講してください。

eAPRIN e-learning course

This program aims to foster literacy in research ethics required for medical researchers and to develop professionals capable of making significant contributions to clinical research planning and management. The program information will be sent to your THERS email address at a later date, so be sure to take the course during your first year.



VI . 修士の学位論文について

Master's Degree Thesis

修士の学位論文について

1. 学位論文の作成等に対する指導(研究指導)について

原則として、学生所属の講座の教授が指導教授となり、「医科学セミナー」及び「医科学実験研究」を通して、学位論文作成の指導に当たるものとする。

2. 学位論文審査申請書の提出について

学位論文を提出しようとする者は、所定の用紙に論文題目等必要事項を記入のうえ、所定の期日までに研究科長に提出しなければならない。

3. 学位論文及び学位論文要旨の提出期限について

学位論文及び学位論文要旨は、所定の期日までに研究科長に提出しなければならない。

4. 提出する学位論文について

学位論文は、学術雑誌に投稿できる程度のものであるとする。

5. 学位論文・学位論文要旨の提出部数、作成要領及び表紙等について

- (1) 学位論文の提出部数は、本通及び本通の写し 4 部の計 5 部とする。
- (2) 学位論文要旨(和文 1,600 字又は英文 800 語程度)の提出は、別の定めによる。
- (3) 学位論文の作成要領(日本語又は英語)は次のとおりとする。
 - ① 用紙は、A4 サイズとすること。
 - ② 作成要領及び表紙等は、別の定めによること。

6. 学位論文審査及び試験について

- (1) 学位論文の公開発表会を、1 月下旬から 2 月上旬の間に行う。
- (2) 学位論文審査及び試験は、公開発表会後に学位審査委員会において行う。

7. 学位論文審査の結果について

学位審査委員会は、審査の結果を所定の用紙により研究科委員会に報告するものとする。

Overview of a Master's Thesis

1. Guidance on thesis preparation (Research guidance)

As a general rule, the professor of the division where the student belongs will be their academic advisor and provides guidance on the preparation of the thesis through the 'Seminar on Medical Science' and 'Experimental Research on Medical Science'.

2. Application for Thesis Presentation

Those who wish to submit a thesis must fill in the prescribed form with the thesis title and submit it to the dean of the Graduate School of Medicine by the specified deadline.

3. Thesis and thesis abstract submission deadline

The thesis and thesis abstract must be submitted to the dean of the Graduate School of Medicine by the specified date.

4. Thesis to be submitted

The thesis should be of a quality suitable for submission to an academic journal.

5. Submission Requirements

- (1) The number of copies of the thesis to be submitted shall be five in total, consisting of an original and four copies of the original.
- (2) Submission of thesis abstract (around 1,600 characters in Japanese or 800 words in English) shall be in accordance with separate regulations.
- (3) The guidelines for writing the thesis (in Japanese or English) are as follows:
 - ① The paper should be in size A4.
 - ② Other specific guidelines for a thesis and cover page shall be in accordance with separate regulations.

6. Thesis Review and Examination

- (1) The thesis presentation will be held from late January to early February for students enrolled in April, and will be held in June for students enrolled in October.
- (2) The Thesis review and examination will be conducted by the Degree Review Committee after the Thesis Presentation.

7. Review results

The Degree Review Committee shall report the results of the review to the Graduate School Committee using the designated form.

VII . キャンパスライフ Campus Life

1. 各種証明書及び学割証等

(1) 学生証

入学又は進学した際に学生証を交付しています。常に学生証を携帯するとともに、窓口等にて学籍・身分等の確認を求められた場合には速やかに提示してください。また、保管には十分注意してください。万一紛失や破損をした場合には、速やかに学生証再交付願を大学院係まで提出してください。再交付事由が紛失・盗難及びカード破損の場合は、学生証発行に必要な実費相当の再交付手数料（1,800円）が必要となります。

(2) 定期券

JR及び各私鉄の通学定期券を購入するためには、所定の通学定期乗車券発行控が必要です。購入希望者はこれらを大学院係で受領し、必要事項を記入の上、各交通機関の販売窓口で提示してください。名古屋市営地下鉄及び市バスのみ通学定期券は各交通機関の販売窓口で購入してください。なお、いずれの手続きの際にも学生証が必要となりますので、必ず携帯してください。

(3) 各種証明書

証明書の発行については、学生証を使って自動発行機で発行される証明書（無料）と、証明書オンラインサービスを利用して申請し発行する証明書（無料、ただし郵送は有料）と、コンビニエンスストアで発行できる証明書（有料）があります。卒業すると全て有料になります。

■自動発行機で発行される証明書

- ・在学証明書
- ・学割証（学校学生生徒旅客運賃割引証）※自動発行機のみ発行可能
- ・修了見込証明書（修士課程2年生のみ）
- ・健康診断証明書（ただし、東山キャンパスの保健管理室において実施される定期健康診断（3月、4月に実施）を受診していない者には発行されません。）

※学割証（学校学生生徒旅客運賃割引証）は、学生の修学上の経済的負担を軽減し、学校教育の振興に寄与することを目的としています。特に、実習・見学、帰省及び就職活動等の便宜を図るために設けられた制度です。

※自動発行機設置場所

- ・医学部基礎医学研究棟1階学務課内
- 利用可能時間は、月曜日から金曜日(祝祭日を除く)の8:30から17:15までです。

■オンライン申請

各種証明書の24時間オンライン申請が可能。大学窓口、郵送で受け取りができ、全国のコンビニエンスストアでも発行することができます（有料）（一部を除く）。オンライン申請サービスにログイン時は、大学から付与された機構アカウントが必要です。

詳細は、本研究科 HP をご覧ください。

■注意事項

コンビニエンスストアで受け取ることができない証明書に関しては、学務課窓口受取又は郵送となります。和文証明書は3～5日程度、英文証明書については7日程度交付までに日数がかかります（土・日・祝日のほか大学が定める休業日を除く）。その他の証明書については、大学院係までお問い合わせください。

2. 各種諸手続等

（1）休学，復学，退学

次の事由が生ずる場合は、その都度願出を提出しなければなりません。これらはいずれも、大学院係において取り扱います。

- ・休学するとき 休学願
- ・復学するとき 復学願
- ・退学するとき 退学願

休学の期間は3か月以上1年以内で、その後、特別な理由がある場合は引き続き休学できます。ただし、原則として、通算して博士課程は4年、修士課程は2年を超えることはできません。

■願出の日付は遡及することはできません。希望する期日の遅くとも2か月前までに、大学院係で所定の手続きを行ってください。（授業料納付とも関係するので、各期のはじまりの2ヶ月前までには申し出てください。）

■願出を提出する際には、指導教員の承認が必要です。事前に必ず、指導教員と十分相談してください。

■病気を理由とする願出の場合は、医師の診断書を添付してください。

■休学及び退学については、所定の手続きをしないと授業料の納入義務が存続することになり、授業料が徴収されるので注意してください。

（2）各種届け出

次の事由が生じた場合は、その都度、下記の届け出書を提出してください。これらはいずれも、大学院係において取り扱います。

- ・本籍地を変更したとき 本籍地変更届
- ・氏名を変更したとき
- ・海外渡航をするとき名古屋大学における氏名の取扱いに関する申出書海外渡航届(Web から申請し、学務課大学院係及び指導教員に提出)

<https://tokou.adm.nagoya-u.ac.jp>

■大学からの緊急時の連絡等に必要のため、住所・電話番号等を変更したときは、その都度大学院係にお知らせください。

■学籍管理のため、本籍地の変更、改姓名又は転籍したときは、戸籍抄本を添えて、大学院係へ届け出てください。

■海外へ旅行等する際は、大学側から急の連絡を要する場合がありますので、必ず海外渡航届を学務課大学院係及び指導教員に提出してください。

3. 各種奨学金及び授業料免除等

(1) 各種奨学金

奨学金には日本学生支援機構の奨学金、地方公共団体や民間の奨学事業団体の奨学金があります。それらは、いずれも人物、学業成績ともに優秀で、かつ健康であって学資の支弁が困難と認められる学生に、申請に基づき選考の上、貸与又は給付されるものです。

■日本学生支援機構奨学金 (JASSO)

1)奨学金の種類

- ・第一種奨学金 (無利子貸与)
- ・第二種奨学金 (有利子貸与)

2)奨学生の募集 ※在学採用

奨学金の貸与を希望する者は、日本学生支援機構の申込書類を提出してください。在学採用の募集は春と秋にあります。(申込書類は学務課で配布しています。)なお、必要書類等の提出期日・提出方法については、メールでお知らせします。

尚、在学採用以外にも、貸与奨学金の緊急・応急採用があります。詳しくは日本学生支援機構のホームページをご覧ください。

3)奨学金の受領

奨学金は、採用決定後に奨学生の指定した銀行口座に、毎月振り込まれます。採用が決定したら、定められた期日までに返還誓約書を提出ください。休学・中途退学等、学生の身分に変更が生じる場合は、すみやかに学務課に申し出てください。

※休学中は奨学金を受けることはできません。

4)奨学金の継続

「奨学金継続願」の対象者は、次年度の奨学金継続希望有無に関わらず、定めた期間内に「奨学金継続願」の提出（入力）が必要です。

12月中旬頃に、学務課より案内する「奨学金継続願」（メール配信または窓口配付）からスカラネットパーソナルにより指定された期日までに必ず入力を済ませてください。提出（入力）されない場合は、奨学金を辞退したとみなされます。

5)返還免除制度

・特に優れた業績による返還免除

大学院で第一種奨学金の貸与を受けた学生のうち、貸与期間中に特に優れた業績を挙げた者として日本学生支援機構が認定した場合に、奨学金の全額または半額を返還免除する制度です。

学問分野での顕著な成果や発明・発見のほか、専攻分野に関する文化・芸術・スポーツにおけるめざましい活躍、ボランティア等での顕著な社会貢献等も含めて評価し、学生の学修へのインセンティブ向上を目的としています。

奨学金の貸与終了時に、大学から日本学生支援機構へ推薦される必要があります。

・返還免除内定制度

特に優れた業績による返還免除の内定者として決定する制度です。

【修士課程】

修士課程等へ進学する前年度に、進学を予定している大学院を通じて申請できます。詳細は、名古屋大学 HP をご覧ください。



【博士課程】

博士課程に入学し、第一種奨学生として採用された方で、貸与終了時に認定する特に優れた業績による返還免除を、博士課程1年次に内定する制度です。



■地方公共団体及び民間育英事業団体

日本学生支援機構奨学金の他に、地方公共団体及び民間育英事業団体が貸与又は給付する奨学金をその都度、HP・掲示によりお知らせしています。申請手続きについては案内にしたがってください。



(2) 授業料の納付

前期(4月から9月まで)及び後期(10月から翌年3月まで)の2期に分け、口座から引き落とす「口座振替」により前期分は5月、後期分は11月に納入していただきます。ただし、休学・退学等の場合は上記とは異なります。

(3) 授業料免除

授業料納付が困難な学生(いずれも正規生のみ)に対して、大学が定める免除申請資格に該当する場合は、選考の上、授業料の全額又は半額が免除されることがあります。

詳細は全学ホームページにより周知します。ホームページ掲載の申請要領に従って申請してください。

なお、授業料の免除申請を行った者については、免除の可否を通知するまでの間は授業料の徴収を猶予しますが、当該決定により免除されなかった者及び半額免除になった者は、本研究科が指定する期日、方法により授業料を納付してください。

免除申請の結果が通知される前に休学又は退学を願い出る場合は、免除申請を取り下げ、所定の授業料を納付しなければなりません。



4. 学生教育研究災害傷害保険・学研災付帯賠償責任保険

■学生教育研究災害傷害保険(学研災)・学研災付帯賠償責任保険

(1) 学生教育研究災害傷害保険は学生の実験、実習などの正課の授業中、学校行事中、課外活動中、大学の施設内における災害事故及び通学中の事故に対する補償制度で、財団法人日本国際教育支援協会と国内損保会社との契約により実施されているものです。

入学手続きの際に加入の手続きを行っていますが、留年や休学により在学期間を延長して在学する学生については、当初の保険期間が終了する前に加入するようにしてください。保険期間を延長する手続きに関しては、大学院係に問い合わせてください。

(2) 学研災付帯賠償責任保険は、国内外において、学生が正課、学校行事、課外活動及びその往復で、他人にケガを負わせた場合、他人の財物を損壊した場合等により、法律上の損害賠償責任を負担することにより被る損害を補償します。学生教育研究災害傷害保険と合わせて、入学時に加入の手続きを行っています。

保険の対象となる事故が発生した場合は、大学院係にご連絡ください。保険会社への事故報告、医療保険金請求方法について、お知らせいたします。

保険についての詳細は下記をご確認ください。

公益財団法人 日本国際支援教育協会 <http://www.jees.or.jp/gakkensai/index.htm>

■学研災付帯海外留学保険（付帯海学）

大学院の研究活動、会議出席等で海外へ渡航する場合は、海外旅行保険への加入を必須としています。各種クレジットカードに付帯する海外旅行保険のみでの海外渡航は推奨していません。学校推奨の付帯海学へ加入を希望する場合は、大学院係までご連絡ください。

5. 定期健康診断

保健管理室（総合保健体育科学センター） 東山キャンパス

TEL:052-789-3969 URL:<https://www.htc.nagoya-u.ac.jp/hokenkanri/>

■定期健康診断

健康管理については、定期健康診断を3月（次年度4月以降も在学する学生向け）、4月（在學生と新入生向け）に行っています。進学、就職、奨学金、入試などで健康診断証明書が必要になる場合がありますので、必ず受けるようにしてください。

日程の詳細については、その都度本研究科 HP（大学院教育）・掲示等でお知らせします。学生健康診断の結果は、予約サイトからオンラインで確認できます。証明書が必要な場合は、本学の証明書発行機（無料）で交付、及びオンライン申請で交付可能です。

外病院に勤務する学生、他機関で健康診断を受けた学生は健診結果の写しを大学院係へ提出してください。ただし、本学の証明書発行機から証明書は交付されません。

学生定期健康診断の検査項目は次のとおりです。

実施時期	検査項目	実施場所
3月、4月	尿検査、胸部X線検査、血圧検査、身体計測（身長・体重）、視力検査、聴力検査、内科診察、健康調査	保健管理室 （総合保健体育科学センター） 東山キャンパス

■特殊健康診断

実験・実習で放射線物質や有害物質等を取り扱う学生を対象に、法令にもとづき特殊健康診断を実施しています。中でも放射性同位元素等を取り扱う実験・実習に従事する場合は、放射線障害防止法により定期健康診断の受診が義務づけられていますので必ず受診するようにしてください。未受診の場合には、R I の実験・実習に従事することも、R I 講習を受講することもできません。なお、特殊健康診断受診者は定期健康診断を受診する必要があります。

日程の詳細については、その都度本研究科 HP (大学院教育)・掲示等でお知らせします。

対象者		検査項目	実施時期	実施場所
放射線物質	初めて放射線物質等を取り扱う者 (R I 実習を受講する者、アイソトープ総合センターのR I 講習会の受講者を含む。)は、従事前に右記検査を受診する。ただし、次年度以降継続して取り扱う者は問診を受け、必要に応じて検査を受ける。	血液検査 皮膚検査 眼の検査	5月 6月－7月 10月 11－12月	保健管理室 (総合保健 体育科学センター)
その他	実験・実習等で有害物質を取り扱う学生	取り扱い状況調査、対象者のみ必要に応じた検査	10月	東山キャンパス

6. 就職

就職を希望する学生に対し、学生支援本部(就職相談部門)において、就職指導・助言を行っています。

キャリアサポートセンター

TEL:052-789-2176

URL: <https://syusyoku.jimu.nagoya-u.ac.jp>

【学生各位】

機構および大学から給与・謝金・旅費を受給する際の注意

東海国立大学機構および岐阜大学、名古屋大学（以下、大学）の研究・教育を運営していくための費用のほとんどが、国民からの税金でまかなわれており、研究費等の不正使用・不適切な使用は、いかなる理由があっても正当化されるものではありません。

また、教員が不正行為を行っていた場合、学生も意図せず不正にまきこまれてしまうことがあるため、学生も研究費等の使用ルールについて知っておく必要があります。

については、大学から給与・謝金・旅費を受給する際には、以下のことに留意してください。

○実際に働いていない雇用に対して賃金を請求すること（受給すること）や実際に行ってない出張に対して旅費を請求すること（受給すること）は、違法行為になります。

○研究助成財団等から旅費に対する研究助成金を受けているにも関わらず、大学に同じ旅行の旅費を請求し、二重に旅費を受給することは違法行為になります。

○大学から支給された給与・謝金・旅費の全部又は一部を研究室等が回収する行為（還流行為）は、社会的に不適切な行為と見なされる場合があります。このような疑念を生じさせないよう、大学では還流行為を禁止しています。

◆ 上記行為を求められた場合、あるいは上記行為の事実を知った場合は、**監査室(kansakkr@thers.ac.jp)**にご相談・ご連絡願います。
また、大学外の法律事務所にも通報窓口を設置しています。
(申立者の個人情報保護され、不利益な取扱いを受けることはありません。)

研究費等不正使用通報窓口HP

<https://www.thers.ac.jp/disclosure/mis-use/index.html>

なお、研究費等の不正使用が判明した場合、合理的な理由があり非公表すると判断した場合を除き、不正に関与した者の氏名が調査結果とともに公表されます。

○旅費の支出は事前の仮払いや業者払いが可能な場合もあります。研究室（研究者）が学生の出張費用（交通費、宿泊施設利用料等）を立て替えるのは必要最小限にしてください。

○やむを得ず研究室（研究者）が立て替えた場合であっても、実際に立て替えた金額に限って精算（学生による研究室（研究者）に対する立替金の返済）してください。

○大学から給与・謝金・旅費を受給する学生は、必ず以下の研修を受講してください。

「コンプライアンス教育（公的資金の使用に係るe-Learning）について（学生向け）」

案内HP：https://www.aip.nagoya-u.ac.jp/risk-management/r_funding/e-learning-for-students



東海国立大学機構研究費等不正使用防止計画委員会
問合せ先：研究戦略部研究安全管理課（052-747-6410）



研究費等不正使用
通報窓口HP



2024.03.22改定

To All Students

Cautions When Receiving Salary/Remuneration/Travel Expenses from THERS

The majority of funds for the administration of research and education at Tokai National Higher Education and Research System, Gihu University and Nagoya University (hereinafter the University) are covered by public taxes; misuse or improper use of research funds cannot be justified for any reason.

Please bear in mind the following when receiving salary/ remuneration/ travel expenses from the University:

- Claiming (receiving) wages for work not performed or claiming (receiving) travel expenses for trips not undertaken are illegal acts.
- Receiving duplicate travel expenses, e.g., receiving a research grant for travel expenses from a research foundation and claiming expenses for the same trip from the University, is an illegal act.
- The act of collection, by a laboratory/research group, of all or part of a salary/ remuneration/ travel expenses received from the University (coercive conduct) may be regarded as socially inappropriate. Coercive conduct is forbidden at the University.



- ◆ If you have been asked to perform any of the above acts, or if you have knowledge of the above acts, please contact and consult the Audit Office (kansakkr@thers.ac.jp).

A reporting desk has also been established at an Off-Campus Law Firm for misuse of research funds. (Personal information of the complainant will be protected and they will not suffer any unfair treatment.)

HP : Report Desk for the Misuse of Research Funds



HP: <https://www.thers.ac.jp/disclosure/mis-use/index.html>

Please note that, if misuse of research funds is identified, unless there is a rational reason, the name of the person involved will be released to the public together with the investigation results.

- Advance provisional payment or merchant payment of travel expenses may be possible. Please minimize the need for the laboratory (researcher) to pay student business trip expenses (transportation costs, accommodation fees, etc.).
- Even when it is unavoidable for laboratories (researchers) to pay for students' business trip expenses, please settle only the actual amount paid up front (repayment of the advance payment by the student to the laboratory (researcher)).
- Students who receive Salary, Remuneration, and Travel Expenses from the university should take the following e-Learning training.

"e-Learning Tutorial for the Appropriate Use of Public Funds (for Students)"

HP : https://www.aip.nagoya-u.ac.jp/risk-management/r_funding/e-learning-for-students



THERS Research Fund Misuse Prevention Committee
Contact: Research Safety Control Division (052-747-6410)

アイソトープ総合センター分館

I 沿革・特色

本施設は昭和35年名古屋大学医学部ラジオアイソトープ中央実験棟（旧一号病棟）に開設、昭和45年新研究棟に移設し、名古屋大学医学部アイソトープセンターと改称した。昭和52年名古屋大学アイソトープ総合センターの発足に伴い名古屋大学アイソトープ総合センター分館となる。平成26年新営した医系研究棟3号館へ移設し施設を一新した。本施設は放射性同位元素（以下「アイソトープ」という。）関係の教育研究を行うとともに、医学部におけるアイソトープの管理を総括し、アイソトープを利用して教育研究を行う大学教員その他これに準ずる者の共同研究に供することを目的としている。現在、教職員や学生が教育研究のために利用している。本施設は、アイソトープ、利用者の入退室、被曝等の管理をコンピュータ化し、徹底した安全管理を行っており、多くの実験機器や実験室等を備え、アイソトープを利用した医学分野の研究開発の場として貢献している。

II スタッフ

分館長	長縄慎二（量子医学分野 教授）
准教授	加茂前健
技術補佐員	
事務員	原田恵子

III 業務内容

アイソトープやX線による放射線被曝障害を防止するため、放射線安全管理を行っている。また、放射線業務従事者に対して放射線に関する教育訓練を行い、放射線の利用に関する知識・技術の向上をはかっている。また、スタッフは放射線取扱主任者およびX線取扱主任者として、医学部全体の放射線安全管理を統括し監督する立場でもある。医学部附属病院の要請に応じて、附属病院の放射線業務従事者に対して教育訓練等を実施している。

IV 設備

液体シンチレーションカウンタ	……………	1台
オートウェルガンカウンタ	……………	1台
バイオイメージアナライザ	……………	1台
DNAサーマルサイクラー（DNA増幅システム）	……………	1台
各種サーベイメータ、個人被曝線量計		
放射線管理システム		
その他、一般理化学機器		

V 問合せ先

名古屋大学アイソトープ総合センター分館 管理室
〒466-8550 名古屋市昭和区鶴舞町65 医系研究棟3号館1階
電話: 052-744-2409
E-mail: Med-kanric@med.nagoya-u.ac.jp

附属医学教育研究支援センター実験動物部門

I 教育の沿革・特色

当部門の前身である動物実験施設は 1984年 4月に設置が認可された。初代施設長には星野宗光教授が就任し、鬼頭純三助教授と動物実験委員会を中心に、当施設が科学的に高く評価される動物実験を行うための研究センターとなる事を目的として、設計と運営の原則が定められた。建物は 1986年 3月に竣工した。その後 1988年に加藤延夫教授、1992年に竹内康浩教授、1994年に鬼頭純三教授が施設長に就任した。動物実験施設の建設準備の段階から施設の管理運営に携わってこられた鬼頭純三教授が定年退官された後、1998年に杉浦康夫教授が、そして1999年には西村正彦教授が施設長に就任した。2004年 5月に改組により動物実験施設は医学教育研究支援センター実験動物部門となり初代部門長に濱口道成教授が就任した。2005年からは太田美智男教授、2008年からは高橋雅英教授、2012年からは門松健治教授、2017年からは大野欽司教授、2020年からは木村宏教授、2022年からは大野欽司教授、2024年からは久場博司教授が部門長に就任した。2021-2022年度に従来の建物の全面的な改修工事を実施し、2020年に竣工していた新棟と一体化させる事で一連の増改修工事が完了した。

II スタッフ

部門長	久場博司
准教授	大野民生
助教	宮坂勇輝
技術職員	大矢康貴、矢野久美子、能丸幸治、場崎恵太
技能補佐員	林 哲弘、糟谷佳恵、山本明子、若森勝巳、福谷陽一、前川真紀子
事務補佐員	斉木寛子 平野純子

III 業務内容

部門内には高い精度と再現性のある動物実験を行うための設備が整備され、名古屋大学における動物実験等に関する取扱規程に基づいた適正な動物実験が行われている。部門職員は施設内の適正な環境の維持管理業務と、遺伝学的、微生物学的に統御された動物の飼育管理業務の他に、利用者に対して適正な動物実験を行うに必要な知識や技術の教育を行っている。更に、マウスの胚／精子の凍結保存や遺伝子改変マウスの作製など胚操作技術に基づく研究支援業務も実施している。平均約150名／日の教職員や学生が動物実験に関する研究・教育のために当部門を利用している。

IV 飼育動物種・実験室

部門内で飼育されている動物種は、マウス、ラット、モルモット、ウサギ、イヌ、ブタ、サルなど多岐にわたっていることから、部門内にはこれらに対応するための様々な動物飼育室や実験室等が整備されている。更に、ABSL2(Animal Bio-safety Level 2)やABSL3の感染実験等の特殊実験にも対応できる設備も備えている。また、小動物用のX線CT、MRI、超音波エコー、インビボイメージングなどの最新の画像解析装置も備えられている。

附属医学教育研究支援センター分析機器部門

I 目的

分析機器部門は、名古屋大学大学院医学系研究科および医学部における各種分析・計測機器を集中的に維持管理し、教育研究および機器利用の効率化を図ることを目的として医系研究棟3号館の4階と5階に設置されている。

当部門は、バイオイメーjing・分子構造解析・細胞機能解析・遺伝情報解析の4研究室からなり、それぞれの分野の研究に必要な、光学顕微鏡・電子顕微鏡・質量分析装置・フローサイトメーター・DNAシーケンサー等の大型機器を中心に各種機器を取り揃えている。また、機器の維持管理のみならず、新技術の紹介や機器利用の講習会、さらには大学院ベーシックトレーニング等の教育研究支援を行っている。講習会は、学生・研究者の誰でも参加できる「分析機器部門講習会シリーズ」として年間を通して開催しているので大いに利用していただきたい。

II スタッフ

技術主任：田中 稔

技術職員：瀧 健太郎、板倉 広治、依藤 絵里、丸井 萌子、山口 雄也、小島 結香里

技術員：水野 裕子、小笠原 志津枝、古川 麻友美

技術補佐員：三澤 伸明

III 構成

《バイオイメーjing研究室》

細胞・組織の形態観察をするための光学顕微鏡、透過および走査電子顕微鏡(エネルギー分散型 X 線分光装置付)、CTに加えて、各種光顕・電顕用試料作製装置、画像解析ソフトが設置されている。

〈機器〉

透過電子顕微鏡	1台	空間オミクス解析装置	1台
透過電子顕微鏡 (EDS 付属)	1台	In vivo イメーjing装置	1台
走査電子顕微鏡 (EDS 付属)	1台	実験動物用 X 線 CT	1台
FIB/SEM	1台	オスミウム・プラズマコーター	2台
超解像/共焦点レーザー顕微鏡	3台	ウルトラマイクロトーム	3台
多光子/共焦点レーザー顕微鏡	1台	光顕用凍結マイクロトーム	3台
共焦点レーザー顕微鏡	2台	滑走式マイクロトーム	3台
ライトシート蛍光顕微鏡	2台	振動刃マイクロトーム	1台
一体型蛍光顕微鏡	3台	トリミング装置	1台
実体蛍光顕微鏡	1台	自動固定包埋装置	2台
バーチャルスライド	1台	パラフィン包埋ブロック作製装置	2台
レーザーマイクロダイセクション	2台	自動免疫染色装置	1台
細胞解析装置	4台	遺伝子導入装置	1台
画像解析ソフト	6台	プレート遠心機	1台

担当者：内線 2395 板倉、内線 2404 依藤、内線 2397 山口・小島・水野・三澤、内線 5782 古川

《分子構造解析研究室》

プロテオーム解析を行うための液体クロマトグラフ質量分析計 (LC-MS) とその周辺装置が設置されている。

〈機器〉

液体クロマトグラフ質量分析計 (LC-MS) 2 台

担当者：内線 2398 瀧

《細胞機能解析研究室》

細胞および細胞成分の定量や分布・性状の解析を行うための機器を中心に設置されている。

〈機器〉

フローサイトメーター (ソーター) 2 台 分子間相互作用測定装置 (SPR) 1 台

フローサイトメーター (アナライザ) 4 台 SPR 顕微鏡 1 台

カロリメーター 1 台

担当者：内線 2399 田中、内線 5779 丸井

《遺伝情報解析研究室》

遺伝子に関する分子生物学的研究に必要な装置として、蛋白質、核酸を分離するための超遠心機をはじめ、一次構造を解析するためのシーケンサー、得られた情報を解析するコンピューターなどが設置されている。

〈機器〉

DNA シーケンサー 3 台 シングルセル解析プラットフォーム 1 台

プレートリーダー (可視, 発光, 蛍光) 4 台 DNA 断片化装置 1 台

分離用超遠心機 5 台 高速液体クロマトグラフ装置 2 台

高速冷却遠心機 1 台 定量 PCR 装置 5 台

紫外可視分光光度計 1 台 イメージアナライザー(蛍光・化学発光) 3 台

細胞破碎装置 1 台 電気泳動装置 4 台

担当者：内線 5779 丸井

《技術室》

分析機器部門に関する事務処理全般、機器利用料の集計・請求、「講習会シリーズ」予定表発行、職員証・学生証の入室登録、および入室カードの発行など。

担当者：内線 2407 小笠原

詳細 <https://www.med.nagoya-u.ac.jp/kiki/>

医学部図書館 利用案内 2026年度

◆ 開館時間

- ・通常期 月-金曜 9:00-20:00
土曜 13:00-17:00
- ・休業期 月-金曜 9:00-17:00
夏 8/8~8/24、冬 1/5~7、春 2/20~3/10

◆ 休館日

- ・日曜・国民の祝日
- ・休業期中の土曜日
- ・機構が定める夏季一斉休業日
- ・蔵書点検期間 8月25日-8月31日
- ・年末年始 12月28日-1月4日

◆ 資料の貸出 (貸出には学生証が必要です)

資料の種類	数量	貸出期間
図書	5冊	2週間
製本雑誌	5冊	1週間
未製本雑誌 (新着雑誌架分)	3冊	12:00- 翌開館後 4時間以内
DVD、ビデオ等	2点	1週間

注1：参考図書(辞書等)は貸出できません

注2：一部のDVD等は、貸出対象外です

◆ 返却・更新・予約

- ・期限日までに医学部図書館カウンターへ持参し、返却してください。
- ・返却が遅れると一定期間貸出停止になります。
- ・貸出期間の延長(更新)は図書に限り1回のみ可能です。返却期限日までに図書館カウンターに学生証と図書を持参するか、Webで手続きしてください。ただし、予約が入っている場合は更新できません。
- ・貸出中資料は、Webで予約できます。
※Web更新・予約には機構アカウントが必要です。
- ・閉館時にはブックポストに返却できます。

◆ 資料配置

図書

和書・洋書とも一緒に背ラベルの順(「日本十進分類法(NDC)」による分類番号と著者記号)により配架されています。

雑誌

和洋別・年代別で数か所に、タイトルのアルファベット順に配架されています。

※ 詳細は館内の案内図をご覧ください。

※ 一部の雑誌は館外に別置されています。

◆ 医学部図書館ホームページ

利用案内やお知らせ、リンク集を載せています。以下の各サービスは、ここからアクセスできます。
<https://www.med.nagoya-u.ac.jp/medlib/>

◆ 名大所蔵検索(OPAC)

蔵書検索システムです。名大全体の図書・雑誌の所蔵(何がどこにあるか)が調べられます。

◆ 電子ジャーナル・電子書籍検索

本学で利用可能な約2万点の電子ジャーナル・電子書籍を学内ネットワークに繋がったパソコンから入手できます。一部学外からの利用も可能です。

◆ 主なデータベース

PubMed

NLM(アメリカ国立医学図書館)が提供する医学文献情報データベースです。無料公開されているので、どこからでも利用できますが、医学部図書館ホームページの“PubMed(名大用URL)”を使ってアクセスした場合のみ、検索結果に“NULink”というアイコンが表示されます。



NULink(エヌユーリンク)は論文の入手を手助けしてくれる便利なリンクです。文献検索の結果に表示されていたらクリックしてください。電子ジャーナルの論文(本文)やOPACへ直接リンクします。

医中誌WEB(※学内限定 同時アクセス数:10)

日本の医学文献情報(抄録)データベースです。

Web of Science / Scopus

自然、人文、社会科学の全分野にわたるデータベースです。どの論文が何回引用されたか、という引用調査もできます。

Journal Citation Reports(JCR)

雑誌の評価指標であるインパクト・ファクターを調べることができます。

Visible Body

解剖実習の体験ができる3Dコンテンツです。

Up To Date(※鶴舞地区限定)

最新の情報を得るための臨床支援ツールです。

◆ Nagoya Journal of Medical Science

医学部が発行する電子ジャーナルです。

https://www.med.nagoya-u.ac.jp/medlib/nagoya_j_med_sci/

◆ 館内設備

自動貸出返却装置 (2階)

資料の貸出・返却をご自身で行うことができます。一部対応していない資料もあります。

PCコーナー (2階)

パソコンとプリンターが利用できます。レポートの作成や授業の準備等、学習・研究用に提供しています。上記目的以外の使用は禁止です。

※ 印刷は有料です。

コピー機

コイン式のクラウド対応カラーコピー機があります。

※ 図書館の資料のみ、著作権法の範囲内で複写を行うことができます。

※ 複写後は備付けの「複写申込書」を提出してください。

持参 PC の無線 LAN 接続



nuwnet を利用しネットワーク接続ができます。

視聴覚室 (2階)

図書館所蔵の視聴覚資料を視聴できます。

※ 利用時間：月-金曜 9:00-17:00

Lib-Carrel (指定席) (3階)

医師国家試験の受験に臨む6年生が1年間占有できる席が119席あります。使える設備は机、本棚、ワゴン、電源、情報コンセントです。空席がある場合は、6年生以外の方に追加募集を行っています。利用期間は3か月です。

ゼミ室 (4階)

大小の2室があります。1人1日当たり4時間まで利用可能ですので、カウンターで学生証を提示し申し込んでください。

※ 予約可能 (開館時間内のみ)

月-金曜 9:00-19:00 (17時閉館時は16時まで)

土曜 13:00-16:00

名古屋大学医学部史料館 (2階)

医学部および病院の歴史的資料の展示室です。

<https://www.med.nagoya-u.ac.jp/medlib/museum/>

※ 利用時間：月-金曜 13:00-17:00 (要予約)

◆ 購入希望図書

購入希望は、図書館カウンターまたは2階に設置の投書箱で受け付けます。Eメール、Webサイトの申請フォームでも受け付けます。

◆ 文献・図書の取り寄せ

学習・研究に必要な資料が鶴舞キャンパスにない場合、医学部図書館を通して学内外の図書館から取り寄せることができます。図書の借用と複写物の取り寄せの2種類があります。

申し込み (以下の2つの方法があります)

① Web から申し込む (機構アカウントでログイン)。OPAC や PubMed 等のデータベースの検索結果を申し込みの際に利用できます。

② 「文献複写・現物貸借申込書」に必要事項を記入し、図書館カウンターに提出する。

所要日数

学内外とも通常1週間程度で到着。

費用

学内と国内の大学図書館から取り寄せる場合は、下記を除き、図書館が費用負担します。

・学外からの図書借用の返送料

・国立国会図書館、海外への依頼 など

※詳細は図書館カウンターでお尋ねください。

◆ 他大学図書館への訪問利用

他大学の図書館を訪問利用する時は、学生証を携帯してください。紹介状や事前調査が必要な図書館もありますので、図書館カウンターでご相談ください。

◆ 閉館時の入館 (学部1-2年生は要申込)

夜間や土日といった閉館中も、入館が可能です。医学部医学科に所属する3年生以上の学部生と大学院医学系研究科に所属する大学院生は、学生証を使って入館ができます。

※ 利用時間：4:00-24:00 (0:00-4:00 入館不可)

◆ 問合せ先

名古屋大学 附属図書館 医学部分館

〒466-8550 名古屋市昭和区鶴舞町65

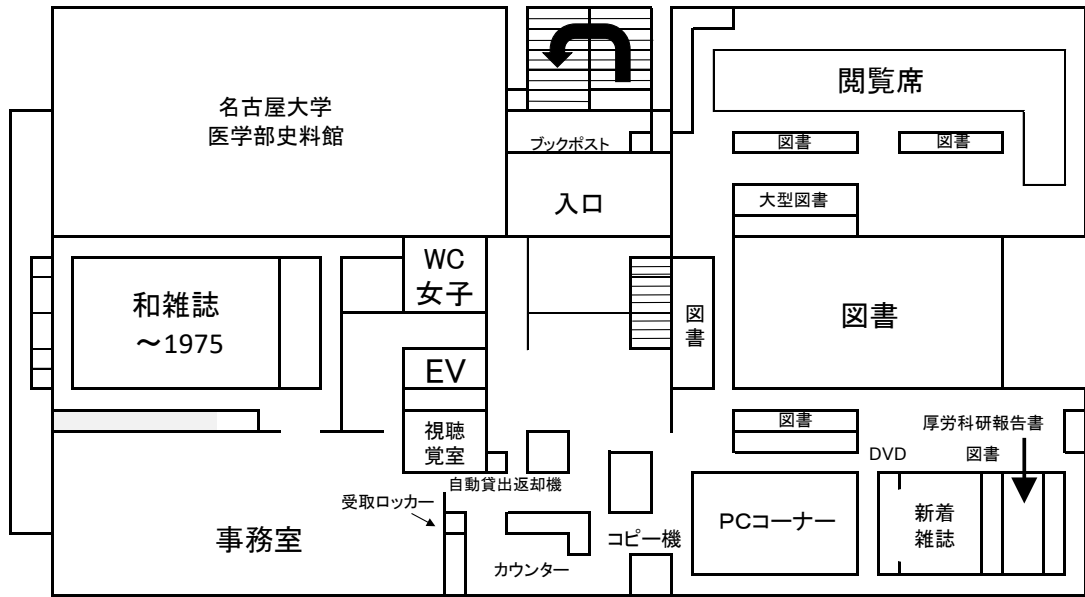
電話：052-744-2506 (カウンター直通)

e-mail: libmed@t.mail.nagoya-u.ac.jp

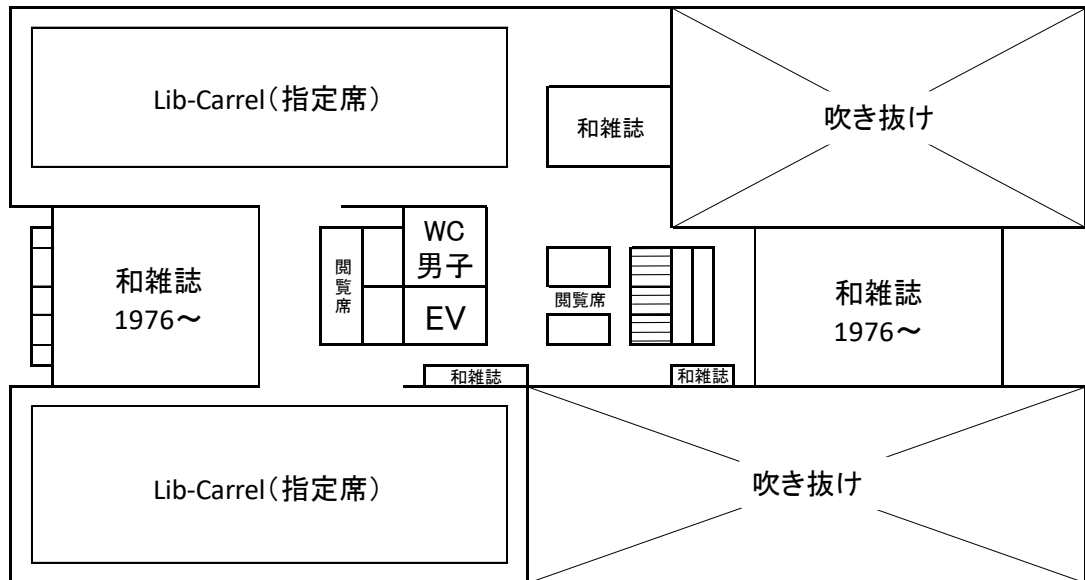
◆ 利用上の注意

- ・館内では常に学生証を携帯してください
- ・館内で利用した資料は元の位置に戻してください
- ・館内での飲食・喫煙は禁止です
- ・ペットボトル等のふたの閉まる飲料のみ特例で持込可
- ・長期の席の占有・荷物の放置・大声での談笑や携帯電話の通話などの、他の利用者の迷惑になる行為は慎んでください
- ・感染症対策等でサービスが変更になる場合があります。最新の情報はホームページからご確認ください

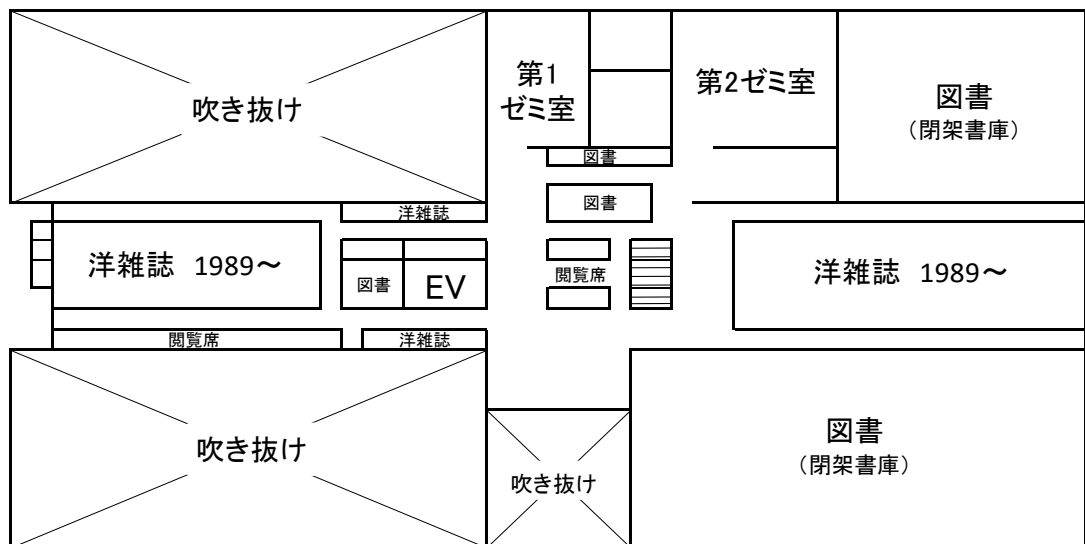
2 F



3 F



4 F



✓ 1988年以前の洋雑誌は別置しています。利用希望はカウンターで受け付けます。

VIII . 規程 ・ その他

○名古屋大学大学院医学系研究科規程

(平成 16 年 4 月 1 日規程第 132 号)

(趣旨)

第 1 条 名古屋大学大学院医学系研究科(以下「研究科」という。)における目的、教育課程、授業、研究指導、成績評価等(以下「研究科の教育」という。)については、名古屋大学大学院通則(平成 16 年度通則第 2 号)及び名古屋大学大学院共通科目規程(平成 22 年度規程第 47 号。以下「大学院共通科目規程」という。)に定めるもののほか、この規程の定めるところによる。

2 この規程に定めるもののほか、研究科の教育に関し必要な事項は、研究科委員会の議を経て、研究科長が定める。

(目的)

第 2 条 研究科は、医学及び保健学における学術の理論及び応用を教授研究し、その深奥を究め、高度の専門性が求められる職業を担うための深い学識及び卓越した能力を培うことにより、文化の進展に寄与するとともに、医学及び保健学における学術の研究者、高度の専門技術者及び教授者を養成することを目的とする。

(修士課程の授業科目、単位数等)

第 3 条 修士課程の授業科目及びその単位数は、別表第 1 のとおりとする。

2 修士課程医科学専攻(次項の生物系プログラム、第 4 項の医療行政コース及び第 5 項の公衆衛生コースを除く。)における授業科目の履修方法は、必修科目 30 単位を修得しなければならない。

3 修士課程医科学専攻に国際プログラム群に係る生物系プログラムを置き、そのプログラムの授業科目の履修方法は、必修科目 26 単位並びに選択必修科目において「基盤医学特論」及び「医学基礎実習」の科目のうちからそれぞれ 2 単位以上、合計 30 単位以上を修得しなければならない。

4 修士課程医科学専攻に医療行政コースを置き、そのコースの授業科目の履修方法は、必修科目 30 単位を修得しなければならない。

5 修士課程医科学専攻に公衆衛生コースを置き、そのコースの授業科目の履修方法は、必修科目 18 単位並びに選択必修科目において、疫学・生物統計学、保健医療政策・管理学、環境保健科学及び社会・行動科学の 4 領域から各 2 単位以上を含む 12 単位以上、合計 30 単位以上を修得しなければならない。

6 修士課程医科学専攻に医学教育コースを置き、そのコースの授業科目の履修方法は、必修科目 22 単位及び選択必修科目 8 単位以上、合計 30 単位以上を修得しなければならない。

7 各授業科目の単位数の計算の基準は、研究科委員会の議を経て、研究科長が定める。

(博士課程の授業科目、単位数等)

第4条 博士課程(医学を履修する博士課程(以下「医学博士課程」という。)を除く。)の授業科目及びその単位数は、別表第2のとおりとする。

2 博士前期課程の次の各号に掲げる総合保健学専攻のコースにおける授業科目の履修方法は、当該各号に定めるところによる。

(1) 看護学コース

イ 基盤科目から4単位以上、専門科目Ⅰ・Ⅱから12単位以上及び特別研究を1科目10単位、合計30単位以上(合計30単位の中には、他の研究科、他の学部若しくは他の専攻の授業科目又は大学院共通科目規程に定める授業科目の単位数を含めることができる。)を履修しなければならない。ただし、専門科目Ⅰについては、Ⅰ類の授業科目から6単位以上を含め、コース共通科目及びⅠ類の授業科目から8単位以上を履修しなければならない。

ロ 助産師国家試験受験資格の取得のためには、イに加え、助産師関係科目32単位を履修しなければならない。

(2) 医療技術学コース 基盤科目から4単位以上、専門科目Ⅰ・Ⅱから10単位以上及び特別研究を1科目10単位、合計30単位以上(合計30単位の中には、他の研究科、他の学部若しくは他の専攻の授業科目又は大学院共通科目規程に定める授業科目の単位数を含めることができる。)を履修しなければならない。ただし、専門科目Ⅰについては、Ⅱ類の授業科目から6単位以上を含め、コース共通科目及びⅡ類の授業科目から8単位以上を履修しなければならない。

(3) リハビリテーション療法学コース 基盤科目から4単位以上、専門科目Ⅰ・Ⅱから14単位以上及び特別研究を1科目10単位、合計30単位以上(合計30単位の中には、他の研究科、他の学部若しくは他の専攻の授業科目又は大学院共通科目規程に定める授業科目の単位数を含めることができる。)を履修しなければならない。ただし、専門科目Ⅰについては、同コースの授業科目から4単位以上を含め、コース共通科目及びリハビリテーション療法学コースの授業科目から8単位以上を履修しなければならない。

3 博士後期課程の次の各号に掲げる総合保健学専攻のコースにおける授業科目の履修方法は、当該各号に定めるところによる。

(1) 看護学コース 基盤科目及び専門科目から4単位以上、特別研究1科目4単位、合計8単位以上を履修しなければならない。ただし、専門科目については、Ⅲ類の授業科目から2単位以上を履修しなければならない。

(2) 医療技術学コース 基盤科目及び専門科目から4単位以上、特別研究1科目4単位、合計8単位以上を履修しなければならない。ただし、専門科目については、Ⅳ類の授業科目から2単位以上を履修しなければならない。

(3) リハビリテーション療法学コース 基盤科目及び専門科目から4単位以上、特別研究1科目4単位、合計8単位以上を履修しなければならない。ただし、専門科目については、リハビリテーション研究実践特講セミナー2単位を履修しなければならない。

4 各授業科目の単位数の計算の基準は、研究科委員会の議を経て、研究科長が定める。
(医学博士課程の科目区分、授業科目、単位数等)

第5条 医学博士課程の授業科目の科目区分及びその内容は、次表のとおりとする。

総合医学専攻

科目区分		内容
基礎科目		大学院教育の一環としてできるだけ幅広く、かつ、基礎的な知識を身に付けさせるための基礎医学領域科目、臨床医学領域科目及び統合医薬学領域科目の各領域に共通の科目である。
専門科目	主科目	学生が目指す専門分野の研究を推し進め、創造力豊かな研究者又は医療指導者となるための中核的な科目である。 学生の所属する専門分野が開講するセミナー及び実験研究から成る。
	副科目	高度な専門知識と研究創造能力を身に付けさせる科目として位置づけられ、主科目に関連した科目とする。

名古屋大学・アデレード大学国際連携総合医学専攻

科目区分		内容
共通科目		名古屋大学及びオーストラリア連邦アデレード大学（以下「アデレード大学」という。）が共同で開講し、双方の国際的な研究者の共同教育の下で先端医学研究及び先端医療を学ぶ科目である。
専門科目	A群科目	名古屋大学が開講する科目であり、学生が目指す専門分野の研究を推し進め、創造力豊かな研究者又は医療指導者となるための中核的な科目である。 学生の所属する専門分野が開講するセミナー及び実験研究から成る。
	B群科目	アデレード大学が開講する科目であり、高度な専門知識と研究創造能力を身に付けさせる科目として位置づけられ、A群に関連したセミナー及び実験研究とする

名古屋大学・ルンド大学国際連携総合医学専攻

科目区分		内容
A群	講義科目	名古屋大学が開講する科目であり、情報リソースの把握並びに活用法についての科目、医療統計学の基礎から応用までについての

科目		科目及び国際的研究組織構築のための戦略・手法・実例の教授を目的として開講する科目から成る。
	演習・実習科目	名古屋大学が開講する科目であり、学生が目指す専門分野の研究を推し進め、創造力豊かな研究者又は医療指導者となるための中核的な科目である。 学生の所属する専門分野が開講するセミナー、実験研究及びポートフォリオから成る。
B群科目	講義科目	スウェーデン王国ルンド大学（以下「ルンド大学」という。）が開講する科目であり、医学博士課程での研究への取組又は研究倫理、オーラルコミュニケーション等についての能力を身に付けさせるために開講する科目である。
	演習・実習科目	ルンド大学が開講する科目であり、高度な専門知識と研究創造能力を身に付けさせる科目として位置づけられ、A群科目に関連したセミナー、実験研究及びポートフォリオから成る。

名古屋大学・フライブルク大学国際連携総合医学専攻

科目区分		内容
A群科目	講義科目	名古屋大学が開講する科目であり、国際的研究組織構築のための戦略・手法・実例の教授を目的として開講する科目である。
	演習・実習科目	名古屋大学が開講する科目であり、学生が目指す専門分野の研究を推し進め、創造力豊かな研究者又は医療指導者となるための中核的な科目である。 学生の所属する専門分野が開講するセミナー及び実験研究から成る。
B群科目	演習・実習科目	ドイツ連邦共和国フライブルク大学（以下「フライブルク大学」という。）が開講する科目であり、高度な専門知識と研究創造能力を身に付けさせる科目として位置づけられ、A群科目に関連したセミナー及び実験研究から成る。

- 2 医学博士課程の授業科目及びその単位数は、別表第3のとおりとする。
- 3 医学博士課程総合医学専攻（次項の医学系プログラム及び第5項の研究者養成コースを除く。）における修得すべき授業科目及びその単位数は、主として研究する専門分野の主科目16単位、基礎科目4単位以上（基盤医学特論2単位及び基盤医科学実習2単位以上）、副科目10単位以上、合計30単位以上とする。ただし、基礎医学領域科目を主科目とする者は、学生の所属する専門分野以外の専門分野が開講するセミナーを副科目とし、臨床医学領域科目を主科目とする者は、基礎医学領域科目又は統合医薬学領域科目を副科目とし、統合医薬学領域科目を主科目とする者は、基礎医学領域科目又は臨床医学領域科目を副科目とする。

- 4 医学博士課程総合医学専攻に国際プログラム群に係る医学系プログラムを置き、当該プログラムの授業科目及び履修方法については、第2項及び前項の規定を準用し、その他必要な事項は、研究科委員会の議を経て、研究科長が定める。
- 5 医学博士課程総合医学専攻に研究者養成コース（MD・PhDコース）を置き、当該コースの授業科目及び履修方法については、第2項及び第3項の規定を準用し、その他必要な事項は、研究科委員会の議を経て、研究科長が定める。
- 6 医学博士課程名古屋大学・アデレード大学国際連携総合医学専攻における修得すべき授業科目及びその単位数は、名古屋大学が開講するA群科目16単位、共通科目2単位、アデレード大学が開講するB群科目12単位以上、合計30単位以上とする。
- 7 医学博士課程名古屋大学・ルンド大学国際連携総合医学専攻における修得すべき授業科目及びその単位数は、名古屋大学が開講するA群科目から講義科目5単位、演習・実習科目から「ポートフォリオA」4単位を含め20単位、ルンド大学が開講するB群科目から講義科目7単位、演習・実習科目から「ポートフォリオB」4単位を含め16単位以上、合計48単位以上とする。
- 8 医学博士課程名古屋大学・フライブルク大学国際連携総合医学専攻における修得すべき授業科目及びその単位数は、名古屋大学が開講するA群科目から講義科目2単位及び演習・実習科目16単位、フライブルク大学が開講するB群科目から演習・実習科目12単位以上、合計30単位以上とする。
- 9 各授業科目の単位数の計算の基準は、研究科委員会の議を経て、研究科長が定める。
（指導教員）

第6条 入学を許可された者には、専門分野に従って、それぞれ指導教員を定める。

2 指導教員は、1名以上とし、必要に応じて、他の研究科の教授を加えることができる。

3 指導教員は、授業科目の履修方法の指導及び研究指導を行うものとする。

（学修計画）

第7条 指導教員は、入学を許可された者の学修計画を定め、学年開始後1月以内に研究科長に提出しなければならない。

2 研究科長は、前項の学修計画について、研究科委員会の議を経て承認する。

（入学前の既修得単位の認定）

第8条 学生が研究科に入学する前に大学院において履修した授業科目について修得した単位（科目等履修生及び特別の課程履修生として修得した単位を含む。）については、教育上有益と認める場合は、10単位を超えない範囲で、課程修了に必要な単位として認定することができる。

（他の研究科等の授業科目の履修）

第9条 研究科委員会の議を経て、研究科長が適当と認めたときは、他の研究科、他の学部又は他の専攻の授業科目を履修し、修得した単位は、課程修了に必要な単位として認定することができる。

2 研究科委員会の議を経て、研究科長が適当と認めたときは、大学院共通科目規程に定める授業科目を履修し、修得した単位は、課程修了に必要な単位として認定することができる。

(他の大学院の授業科目の履修)

第10条 学生が他の大学院の授業科目を履修し、修得した単位は、10単位を超えない範囲で、課程修了に必要な単位として認定することができる。

2 前項の規定により授業科目を履修し、単位を修得しようとするときは、3月前までに研究科長に願い出なければならない。

3 前2項の規定にかかわらず、医学博士課程名古屋大学・アデレード大学国際連携総合医学専攻、医学博士課程名古屋大学・ルンド大学国際連携総合医学専攻又は医学博士課程名古屋大学・フライブルク大学国際連携総合医学専攻の学生が他の大学院の授業科目を履修し、修得した単位の認定については、研究科委員会の議を経て、研究科長が定める。

(他の大学院等における研究指導)

第11条 学生が他の大学院又は研究所等において研究指導を受けた場合の認定方法は、研究科委員会の議を経て、研究科長が定める。

(留学)

第12条 学生が留学しようとするときは、3月前までに研究科長に願い出なければならない。

2 前2条の規定は、学生が留学する場合に準用する。

(成績評価)

第13条 成績評価は、授業科目の試験(以下「科目試験」という。)及び学位試験とする。

2 科目試験の成績は、名古屋大学における成績評価及びGPA制度に関する規程(令和元年度規程第68号)の定めるところによる。

3 学位試験は、名古屋大学学位規程(平成16年度規程第104号)の定めるところにより行う。

4 学位論文は、学修計画によって所定の授業科目を履修し、30単位以上(博士後期課程にあつては8単位以上)を修得した後、随時提出することができる。

5 科目試験及び学位試験の時期、方法その他必要な事項は、あらかじめ公示する。

(追試験)

第 14 条 病気その他やむを得ない事由により科目試験を受けなかった者は、その試験に合格することによって学位論文提出の資格を得られる場合に限り、研究科委員会の議を経て、追試験を受けることができる。

(再試験)

第 15 条 学位試験に不合格となった者は、研究科委員会の議を経て、6 月後に再試験を受けることができる。

(転入学者の既修得単位の認定)

第 16 条 他の大学院から転入学した者の既修得単位の認定については、研究科委員会の議を経て、研究科長が定める。

(転専攻)

第 16 条の 2 学生が総合医学専攻と名古屋大学・アデレード大学国際連携総合医学専攻、名古屋大学・ルンド大学国際連携総合医学専攻又は名古屋大学・フライブルク大学国際連携総合医学専攻の間で転専攻を志願しようとするときは、研究科委員会の議を経て、研究科長の許可を得なければならない。

2 前項の学生が既に修得した授業科目の単位の認定及び在学期間の取扱いに関しては、研究科委員会の議を経て、研究科長が定める。

(長期履修)

第 17 条 総合保健学専攻博士後期課程において、学生が職業を有している等の事情により、標準修業年限を超えて一定の期間にわたり計画的に教育課程を履修し課程を修了することを希望する旨を申し出たときは、研究科長は、研究科委員会の議を経て、その計画的な履修を許可することができる。

(大学院特別聴講学生の入学)

第 18 条 大学院特別聴講学生の入学は、研究科委員会において選考の上、研究科長が許可する。

(科目等履修生)

第 19 条 科目等履修生の入学は、研究科教授会において選考の上、研究科長が許可する。

2 科目等履修生の履修科目における単位の認定等は、第 3 条、第 4 条及び第 13 条の規定を準用する。

(特別研究学生の入学)

第 20 条 特別研究学生の入学は、研究科委員会において選考の上、研究科長が許可する。

(大学院研究生の定員)

第 21 条 大学院研究生の定員は、198 名とする。

(大学院研究生の入学)

第 22 条 大学院研究生の入学資格は、次のとおりとする。

- (1) 大学の医学部又は歯学部を卒業した者
 - (2) 修士の学位を有する者
 - (3) 外国において学校教育における 18 年の課程を修了した者
 - (4) 研究科委員会において、前各号のいずれかに該当する者と同等以上の学力があると認められた者
- 2 大学院研究生の入学は、研究科委員会において選考の上、研究科長が許可する。
(大学院研究生の在学期間)

第 23 条 大学院研究生の在学期間は、1 年以内とする。ただし、学年の途中で入学した場合における在学期間は、当該学年末までとする。

- 2 在学期間が満了しても研究のため、なお引き続き在学しようとする者があるときは、研究科長の許可を得て在学期間を延長することができる。
- 3 前項の場合、研究科長は、研究科委員会の議を経て許可する。

附 則

この規程は、平成 16 年 4 月 1 日から施行する。ただし、平成 15 年度以前に入学した者については、この規程の施行前の名古屋大学大学院医学系研究科規程を適用する。

附 則(平成 16 年 7 月 21 日規程第 291 号)

この規程は、平成 16 年 10 月 1 日から施行する。ただし、平成 16 年 9 月 30 日以前に入学した者については、なお従前の例による。

附 則(平成 17 年 3 月 2 日規程第 339 号)

この規程は、平成 17 年 4 月 1 日から施行する。ただし、平成 16 年度以前に入学した者については、なお従前の例による。

附 則(平成 17 年 3 月 16 日規程第 385 号)

この規程は、平成 17 年 4 月 1 日から施行する。ただし、平成 16 年度以前に入学した者については、なお従前の例による。

附 則(平成 18 年 3 月 15 日規程第 85 号)

この規程は、平成 18 年 4 月 1 日から施行する。ただし、平成 17 年度以前に入学した者については、なお従前の例による。

附 則(平成 19 年 2 月 21 日規程第 86 号)

- 1 この規程は、平成 19 年 4 月 1 日から施行する。

2 改正後の別表第2の項中授業科目及び履修方法に係る規定並びに別表第3の項中授業科目に係る規定は、平成19年度に入学した者から適用し、平成18年度以前に入学した者については、なお従前の例による。

附 則(平成19年6月20日規程第37号)

この規程は、平成19年6月20日から施行する。ただし、平成18年度以前に入学した者については、なお従前の例による。

附 則(平成19年7月18日規程第38号)

この規程は、平成19年7月18日から施行し、平成19年4月1日から適用する。

附 則(平成19年10月3日規程第40号)

この規程は、平成19年10月3日から施行し、平成19年4月1日から適用する。

附 則(平成20年2月20日規程第82号)

この規程は、平成20年4月1日から施行する。ただし、平成19年度以前に入学した者については、なお従前の例による。

附 則(平成21年3月4日規程第57号)

この規程は、平成21年4月1日から施行する。ただし、平成20年度以前に入学した者については、なお従前の例による。

附 則(平成21年5月20日規程第7号)

この規程は、平成21年10月1日から施行する。ただし、平成21年9月30日以前に入学した者については、なお従前の例による。

附 則(平成22年2月17日規程第60号)

この規程は、平成22年4月1日から施行する。ただし、平成21年度以前に入学した者については、なお従前の例による。

附 則(平成23年3月2日規程第74号)

この規程は、平成23年4月1日から施行する。ただし、平成22年度以前に入学した者については、なお従前の例による。

附 則(平成23年7月6日規程第29号)

この規程は、平成23年10月1日から施行する。

附 則(平成 24 年 3 月 7 日規程第 80 号)

この規程は、平成 24 年 4 月 1 日から施行する。ただし、平成 23 年度以前に入学した者については、なお従前の例による。

附 則(平成 24 年 3 月 29 日規程第 104 号)

この規程は、平成 24 年 4 月 1 日から施行する。

附 則(平成 25 年 2 月 20 日規程第 87 号)

この規程は、平成 25 年 4 月 1 日から施行する。ただし、平成 24 年度以前に入学した者については、なお従前の例による。

附 則(平成 25 年 6 月 19 日規程第 14 号)

この規程は、平成 25 年 10 月 1 日から施行する。ただし、平成 25 年 9 月 30 日以前に入学した者については、なお従前の例による。

附 則(平成 26 年 2 月 5 日規程第 109 号)

この規程は、平成 26 年 4 月 1 日から施行する。ただし、平成 25 年度以前に入学した者については、なお従前の例による。

附 則(平成 27 年 3 月 3 日規程第 63 号)

この規程は、平成 27 年 4 月 1 日から施行する。

附 則(平成 27 年 3 月 4 日規程第 76 号)

この規程は、平成 27 年 4 月 1 日から施行する。ただし、平成 26 年度以前に入学した者については、なお従前の例による。

附 則(平成 27 年 7 月 1 日規程第 17 号)

この規程は、平成 27 年 10 月 1 日から施行する。

附 則(平成 28 年 2 月 3 日規程第 104 号)

この規程は、平成 28 年 4 月 1 日から施行する。

附 則(平成 29 年 1 月 18 日規程第 145 号)

この規程は、平成 29 年 4 月 1 日から施行する。ただし、平成 28 年度以前に入学した者については、なお従前の例による。

附 則(平成 29 年 2 月 1 日規程第 76 号)

この規程は、平成 29 年 4 月 1 日から施行する。ただし、平成 28 年度以前に入学した者については、なお従前の例による。

附 則(平成 30 年 2 月 7 日規程第 90 号)

この規程は、平成 30 年 4 月 1 日から施行する。ただし、平成 29 年度以前に入学した者については、なお従前の例による。

附 則(平成 30 年 3 月 30 日規程第 139 号)

この規程は、平成 30 年 4 月 1 日から施行する。

附 則(平成 30 年 7 月 18 日規程第 19 号)

この規程は、平成 30 年 10 月 1 日から施行する。

附 則(平成 30 年 10 月 3 日規程第 46 号)

この規程は、平成 30 年 11 月 1 日から施行する。

附 則(平成 31 年 2 月 6 日規程第 79 号)

この規程は、平成 31 年 4 月 1 日から施行する。ただし、平成 30 年度以前に入学した者については、なお従前の例による。

附 則(令和 2 年 3 月 4 日規程第 95 号)

この規程は、令和 2 年 4 月 1 日から施行する。ただし、令和元年度以前に入学した者については、なお従前の例による。

附 則(令和 2 年 3 月 25 日規程第 108 号)

この規程は、令和 2 年 4 月 1 日から施行する。ただし、令和元年度以前に入学した者については、なお、従前の例による。

附 則(令和 2 年 9 月 4 日名大規程第 90 号)

- 1 この規程は、令和 2 年 9 月 4 日から施行し、令和 2 年 4 月 1 日から適用する。ただし、令和元年度以前に入学した者については、なお従前の例による。
- 2 前項の規定にかかわらず、改正後の第 17 条の規定は、令和 2 年 10 月 1 日から施行する。

附 則(令和 3 年 3 月 19 日名大規程第 157 号)

この規程は，令和 3 年 4 月 1 日から施行する。ただし，令和 2 年度以前に入学した者については，なお従前の例による。

附 則(令和 4 年 3 月 2 日名大規程第 62 号)

この規程は，令和 4 年 4 月 1 日から施行する。ただし，令和 3 年度以前に入学した者については，なお従前の例による。

附 則(令和 5 年 3 月 1 日名大規程第 104 号)

この規程は，令和 5 年 4 月 1 日から施行する。ただし，令和 4 年度以前に入学した者については，なお従前の例による。

附 則(令和 6 年 2 月 21 日名大規程第 63 号)

この規程は，令和 6 年 2 月 21 日から施行し，令和 5 年 4 月 1 日から適用する。ただし，令和 4 年度以前に入学した者については，なお従前の例による。

附 則(令和 7 年 3 月 7 日名大規程第 79 号)

この規程は，令和 7 年 4 月 1 日から施行する。ただし，令和 6 年度以前に入学した者については，なお従前の例による。

附 則

- 1 この規程は，令和 8 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 改正後の第 3 条第 6 項，第 8 条，別表第 1，別表第 2 及び別表第 3 の規定は，令和 8 年度に入学した者から適用し，令和 7 年度以前に入学した者については，なお従前の例による。
- 3 改正後の第 17 条の規定は，令和 6 年度に入学した者から適用し，令和 5 年度以前に入学した者については，なお従前の例による。

別表第 1(第 3 条関係)，別表第 2(第 4 条関係)，別表第 3(第 5 条関係)

[別紙参照]

別表第1(第3条関係)

(1) 修士課程医科学専攻

必修科目

人体形態学	2 単位	医科学講義	2 単位
人体機能学	2 単位	医学基礎実習	2 単位
病理病態学	2 単位	医科学セミナー	8 単位
社会医学	2 単位	医科学実験研究	8 単位
臨床医学概論	2 単位		

[履修方法]

必修科目 30 単位を修得しなければならない。

(2) 修士課程医科学専攻生物系プログラム

必修科目

生命医学本論	10 単位
生命医学講究	16 単位

選択必修科目

基盤医学特論	2 単位
医学基礎実習	2 単位

[履修方法]

必修科目 26 単位並びに選択必修科目において「基盤医学特論」及び「医学基礎実習」の科目のうちからそれぞれ 2 単位以上、合計 30 単位以上を修得しなければならない。

(3) 修士課程医科学専攻医療行政コース

(ヤング・リーダーズ・プログラム：1 年コース)

必修科目

医療機関と医療職	2 単位	コロキアム	2 単位
健康に関する行政法規	1 単位	フィールドトリップ	4 単位
健康保険と医療経済	1 単位	セミナー I	1 単位
病院管理学	1 単位	セミナー II	1 単位
薬局管理学	1 単位	セミナー III	1 単位
地域保健学・国際保健医療学	1 単位	セミナー IV	1 単位
労働・環境衛生学	1 単位	セミナー V	1 単位
疫学	1 単位	修士論文	6 単位
生物統計学	1 単位	臨床医学概論	2 単位
医事法制	1 単位		

[履修方法]

必修科目 30 単位を修得しなければならない。

(4) 修士課程医科学専攻公衆衛生コース (公衆衛生学プログラムを含む。)

必修科目

社会医学	2 単位	医科学実験研究	8 単位
医科学セミナー	8 単位		

選択必修科目

共通科目

人体形態学	2 単位	臨床医学概論	2 単位
人体機能学	2 単位	医科学講義	2 単位
病理病態学	2 単位	医学基礎実習	2 単位

疫学・生物統計学領域

予防医学概論	1 単位	疫学研究方法概論	2 単位
統計解析実習	0.5 単位	臨床統計学・レギュラトリーサイエンス	1 単位
医学統計実習	0.5 単位	応用統計解析実習	0.5 単位
疫学	1 単位	応用予防医学	1 単位
生物統計学	1 単位		

保健医療政策・管理学領域

公衆衛生・国際保健概論	1 単位	病院管理学	1 単位
法医学概論	1 単位	地域保健学・国際保健医療学	1 単位
医療行政基礎実習	0.5 単位	医事法制	1 単位
医療機関と医療職	2 単位	保健医療システム概論	2 単位
健康に関する行政法規	1 単位	総合保健計画学特論	2 単位
健康保険と医療経済	1 単位	グローバルヘルス概論	1 単位

環境保健科学領域

環境衛生学概論	1 単位	労働・環境衛生学	1 単位
生体組織のメタロミクス解析実習	0.5 単位	応用環境労働衛生学	2 単位
感覚器の形態解析実習	0.5 単位	生活環境と健康	1 単位

社会・行動科学領域

総合保健計画学実践論	2 単位	行動科学・医療社会人類学特論	1 単位
質的解析法実習	0.5 単位	応用社会・行動科学	2 単位
精神健康医学実習	0.5 単位	質的研究・質的分析の方法	2 単位
生命倫理学	2 単位	医学倫理特論	0.5 単位

[履修方法]

必修科目 18 単位並びに選択必修科目において、疫学・生物統計学、保健医療政策・管理学、環境保健科学及び社会・行動科学の 4 領域から各 2 単位以上を含む 12 単位以上、合計 30 単位以上を修得しなければならない。

(5) 修士課程医科学専攻医学教育コース

必修科目

医学教育概論	2 単位	量的研究	2 単位
教育と学修	2 単位	質的研究	2 単位
学修者評価	2 単位	医学教育学セミナー I	4 単位
カリキュラム開発	2 単位	医学教育学研究 I	4 単位
教育哲学	2 単位		
選択必修科目			
医学教育学セミナー II	4 単位	医学教育学特論 I	4 単位
医学教育学研究 II	4 単位	医学教育学特論 II	4 単位
[履修方法]			

必修科目 22 単位及び選択必修科目 8 単位以上、合計 30 単位以上を修得しなければならない。

別表第 2 (第 4 条関係)

博士前期課程

総合保健学専攻

基盤科目

全研究科共通科目

プロフェッショナル・リテラシー			1 単位
Research Skills T: Logical Thinking Skills in the Age of AI - I			2 単位
Research Skills T: Logical Thinking Skills in the Age of AI - II			2 単位
Research Skills W: Fundamentals of Academic Writing			2 単位
Research Skills W: Developing Academic Writing			2 単位
Research Skills W: The Secrets of Research Writing			2 単位
Research Skills W: More Secrets of Research Writing			2 単位
Research Skills P: AI Research Tools I			2 単位
Research Skills P: AI Research Tools II			2 単位
Research Skills P: Academic Presentation Design			2 単位
Research Skills P: Academic Presentation			2 単位
Research Skills P: Academic Presentation Skills in the AI Era I			2 単位
Research Skills P: Academic Presentation Skills in the AI Era II			2 単位
Research Skills SC: Summer Camp			2 単位

専攻共通科目

生命倫理学	2 単位	保健医療データ活用法入門	2 単位
病態生理学概論	2 単位	保健医療技術概論	2 単位
コンサルテーション論	2 単位	基礎医科学実習	1 単位

専門科目 I

コース共通科目

生命情報学特論	2 単位	トータルヘルスプランナー実践	2 単位
社会健康情報学特論	2 単位	保健学セミナー	2 単位
トータルヘルスプランナー特論	2 単位		

看護学コース

臨床がん看護学Ⅱ特論	2 単位		
がん看護病態生理学	2 単位		

(助産師関係科目)

母子援助論	1 単位	助産診断・技術学Ⅰ	2 単位
ウイメンズヘルス論	2 単位	助産診断・技術学Ⅱ	2 単位
国際母子保健Ⅰ	1 単位	産科学	2 単位
国際母子保健Ⅱ	1 単位	地域母子保健	2 単位
助産概論	1 単位	周産期ハイリスクケア論	1 単位
助産管理論	2 単位	リプロダクティブヘルス論	1 単位

I 類

看護教育論	2 単位	高度実践看護開発学特論	2 単位
看護理論	2 単位	臨床がん看護学Ⅰ特論	2 単位
看護学研究方法論	2 単位	次世代育成看護学特論Ⅰ	2 単位
看護管理論	2 単位	次世代育成看護学特論Ⅱ	2 単位
フィジカルアセスメント	2 単位	地域包括ケア開発看護学特論Ⅰ	2 単位
臨床薬理学	2 単位	地域包括ケア開発看護学特論Ⅱ	2 単位
看護システム・ケア開発学特論	2 単位		

医療技術学コース

医学物理学特論	2 単位	放射線腫瘍学特論	2 単位
---------	------	----------	------

II 類

医用画像工学特論	2 単位	生体防御情報科学特論	2 単位
医用画像解析学特論	2 単位	病態情報科学特論	2 単位
医用量子科学特論	2 単位	細胞遺伝子情報科学特論	2 単位
医用機能画像評価学特論	2 単位	生体分子情報科学特論	2 単位

リハビリテーション療法学コース

リハビリテーション療法学特論Ⅰ	2 単位	リハビリテーション研究実践セミナー	2 単位
リハビリテーション療法学特論Ⅱ	2 単位		

専門科目Ⅱ

コース共通科目

生命情報学実習	2 単位	社会健康情報学実習	2 単位
---------	------	-----------	------

看護学コース

看護システム・ケア開発学セミナー	2 単位	臨床がん看護学課題実習Ⅱ	3 単位
看護システム・ケア開発学実習	2 単位	臨床がん看護学課題実習Ⅲ	4 単位
高度実践看護開発学セミナー	2 単位	臨床がん看護学課題実習Ⅳ	1 単位
高度実践看護開発学実習	2 単位	次世代育成看護学セミナー	2 単位
臨床がん看護学セミナーⅠ	2 単位	次世代育成看護学実習	2 単位
臨床がん看護学セミナーⅡ	2 単位	地域包括ケア開発看護学セミナー	2 単位
臨床がん看護学セミナーⅢ	4 単位	地域包括ケア開発看護学実習	2 単位
臨床がん看護学課題実習Ⅰ	2 単位	国際地域母子保健実習	1 単位

(助産師関係科目)

助産学演習	2 単位	助産実習Ⅲ	2 単位
助産実習Ⅰ	1 単位	助産実習Ⅳ	1 単位
助産実習Ⅱ	8 単位		

医療技術学コース

医用量子科学実習Ⅰ	2 単位	臨床医学物理学実習	2 単位
医用量子科学実習Ⅱ	2 単位	オミックス医療科学実習Ⅰ	2 単位
基礎医学物理学実習	2 単位	オミックス医療科学実習Ⅱ	2 単位

リハビリテーション療法学コース

リハビリテーション療法学セミナーⅠ	4 単位
リハビリテーション療法学セミナーⅡ	2 単位
特別研究	10 単位

博士後期課程

総合保健学専攻

基盤科目

基盤医科学実習	1 単位
---------	------

専門科目

コース共通科目

先端生命情報学特講	2 単位	先端社会健康情報学特講演習	2 単位
先端生命情報学特講演習	2 単位	保健医療データ活用法特講	2 単位
先端社会健康情報学特講	2 単位		

看護学コース

看護システム・ケア開発学特講演習	2 単位	次世代育成看護学特講演習	2 単位
高度実践看護開発学特講演習	2 単位	地域包括ケア開発看護学特講演習	2 単位
Ⅲ類			
看護システム・ケア開発学特講	2 単位	高度実践看護開発学特講	2 単位

次世代育成看護学特講	2 単位	地域包括ケア開発看護学特講	2 単位
医療技術学コース			
医用画像工学特講演習	2 単位	生体防御情報科学特講演習	2 単位
医用画像解析学特講演習	2 単位	病態情報科学特講演習	2 単位
医用量子科学特講演習	2 単位	細胞遺伝子情報科学特講演習	2 単位
医用機能画像評価学特講演習	2 単位	生体分子情報科学特講演習	2 単位
IV類			
医用画像工学特講	2 単位	生体防御情報科学特講	2 単位
医用画像解析学特講	2 単位	病態情報科学特講	2 単位
医用量子科学特講	2 単位	細胞遺伝子情報科学特講	2 単位
医用機能画像評価学特講	2 単位	生体分子情報科学特講	2 単位
リハビリテーション療法学コース			
リハビリテーション療法学特講Ⅰ	2 単位	リハビリテーション研究実践特講セミナー	2 単位
リハビリテーション療法学特講Ⅱ	2 単位	特別研究	4 単位

別表第3(第5条関係)

医学博士課程(医学系プログラムを含む。)

総合医学専攻

(基礎科目)

基盤医学特論	1 単位	基盤医科学実習	0.5 単位
--------	------	---------	--------

(専門科目)

基礎医学領域科目

分子生物学セミナー	10 単位	機能分子制御学実験研究	6 単位
分子生物学実験研究	6 単位	分子遺伝学セミナー	10 単位
分子細胞化学セミナー	10 単位	分子遺伝学実験研究	6 単位
分子細胞化学実験研究	6 単位	機能再生医学セミナー	10 単位
分子病原細菌学セミナー	10 単位	機能再生医学実験研究	6 単位
分子病原細菌学実験研究	6 単位	データ駆動生物学セミナー	10 単位
分子細胞免疫学セミナー	10 単位	データ駆動生物学実験研究	6 単位
分子細胞免疫学実験研究	6 単位	実験動物科学セミナー	10 単位
ウイルス学セミナー	10 単位	実験動物科学実験研究	6 単位
ウイルス学実験研究	6 単位	老化基礎科学セミナー	10 単位
機能分子制御学セミナー	10 単位	老化基礎科学実験研究	6 単位

認知機能科学セミナー	10 単位	分子病理学セミナー	10 単位
認知機能科学実験研究	6 単位	分子病理学実験研究	6 単位
老化疫学セミナー	10 単位	法医・生命倫理学セミナー	10 単位
老化疫学実験研究	6 単位	法医・生命倫理学実験研究	6 単位
老化代謝科学セミナー	10 単位	環境労働衛生学セミナー	10 単位
老化代謝科学実験研究	6 単位	環境労働衛生学実験研究	6 単位
免疫不全統御学セミナー	10 単位	予防医学セミナー	10 単位
免疫不全統御学実験研究	6 単位	予防医学実験研究	6 単位
統合生理学セミナー	10 単位	国際保健医療学・公衆衛生学セミナー	10 単位
統合生理学実験研究	6 単位	国際保健医療学・公衆衛生学実験研究	6 単位
細胞生理学セミナー	10 単位	医療行政学セミナー	10 単位
細胞生理学実験研究	6 単位	医療行政学実験研究	6 単位
分子細胞薬理学セミナー	10 単位	健康栄養医学セミナー	10 単位
分子細胞薬理学実験研究	6 単位	健康栄養医学実験研究	6 単位
神経情報薬理学セミナー	10 単位	健康スポーツ医学セミナー	10 単位
神経情報薬理学実験研究	6 単位	健康スポーツ医学実験研究	6 単位
分子腫瘍学セミナー	10 単位	精神病理学・精神療法学セミナー	10 単位
分子腫瘍学実験研究	6 単位	精神病理学・精神療法学実験研究	6 単位
腫瘍生物学セミナー	10 単位	健康運動科学セミナー	10 単位
腫瘍生物学実験研究	6 単位	健康運動科学実験研究	6 単位
分子神経科学セミナー	10 単位	がん記述疫学セミナー	10 単位
分子神経科学実験研究	6 単位	がん記述疫学実験研究	6 単位
免疫代謝学セミナー	10 単位	がん分析疫学セミナー	10 単位
免疫代謝学実験研究	6 単位	がん分析疫学実験研究	6 単位
システム神経薬理学セミナー	10 単位	腫瘍遺伝学セミナー	10 単位
システム神経薬理学実験研究	6 単位	腫瘍遺伝学実験研究	6 単位
内分泌代謝学セミナー	10 単位	がん病態生理学セミナー	10 単位
内分泌代謝学実験研究	6 単位	がん病態生理学実験研究	6 単位
人類遺伝学セミナー	10 単位	がん分子病因学セミナー	10 単位
人類遺伝学実験研究	6 単位	がん分子病因学実験研究	6 単位
病態神経科学セミナー	10 単位	がんシステム情報学セミナー	10 単位
病態神経科学実験研究	6 単位	がんシステム情報学実験研究	6 単位
神経生化学セミナー	10 単位	標的探索・治療学セミナー	10 単位
神経生化学実験研究	6 単位	標的探索・治療学実験研究	6 単位
分子細胞学セミナー	10 単位	細胞腫瘍学セミナー	10 単位
分子細胞学実験研究	6 単位	細胞腫瘍学実験研究	6 単位
機能組織学セミナー	10 単位	がん免疫ゲノム学セミナー	10 単位
機能組織学実験研究	6 単位	がん免疫ゲノム学実験研究	6 単位
細胞生物学セミナー	10 単位		
細胞生物学実験研究	6 単位		
生体反応病理学セミナー	10 単位		
生体反応病理学実験研究	6 単位		
腫瘍病理学セミナー	10 単位		
腫瘍病理学実験研究	6 単位		

先端がん診断学セミナー	10 単位
先端がん診断学実験研究	6 単位
先端がん標的治療学セミナー	10 単位

先端がん標的治療学実験研究	6 単位
応用ゲノム病理学セミナー	10 単位
応用ゲノム病理学実験研究	6 単位

臨床医学領域科目

血液・腫瘍内科学セミナー	10 単位
血液・腫瘍内科学実験研究	6 単位
循環器内科学セミナー	10 単位
循環器内科学実験研究	6 単位
消化器内科学セミナー	10 単位
消化器内科学実験研究	6 単位
呼吸器内科学セミナー	10 単位
呼吸器内科学実験研究	6 単位
糖尿病・内分泌内科学セミナー	10 単位
糖尿病・内分泌内科学実験研究	6 単位
腎臓内科学セミナー	10 単位
腎臓内科学実験研究	6 単位
がん薬物療法学セミナー	10 単位
がん薬物療法学実験研究	6 単位
量子医学セミナー	10 単位
量子医学実験研究	6 単位
量子介入治療学セミナー	10 単位
量子介入治療学実験研究	6 単位
放射線治療学セミナー	10 単位
放射線治療学実験研究	6 単位
臓器病態診断学セミナー	10 単位
臓器病態診断学実験研究	6 単位
病態構造解析学セミナー	10 単位
病態構造解析学実験研究	6 単位
神経内科学セミナー	10 単位
神経内科学実験研究	6 単位
精神医学セミナー	10 単位
精神医学実験研究	6 単位
脳神経外科学セミナー	10 単位
脳神経外科学実験研究	6 単位
脳神経先端医療開発学セミナー	10 単位
脳神経先端医療開発学実験研究	6 単位
脳血管内治療学セミナー	10 単位
脳血管内治療学実験研究	6 単位
眼科学セミナー	10 単位
眼科学実験研究	6 単位
感覚器障害制御学セミナー	10 単位
感覚器障害制御学実験研究	6 単位
耳鼻咽喉科学セミナー	10 単位

耳鼻咽喉科学実験研究	6 単位
顎顔面外科学セミナー	10 単位
顎顔面外科学実験研究	6 単位
腫瘍外科学セミナー	10 単位
腫瘍外科学実験研究	6 単位
血管外科学セミナー	10 単位
血管外科学実験研究	6 単位
消化器外科学セミナー	10 単位
消化器外科学実験研究	6 単位
乳腺・内分泌外科学セミナー	10 単位
乳腺・内分泌外科学実験研究	6 単位
移植外科学セミナー	10 単位
移植外科学実験研究	6 単位
心臓外科学セミナー	10 単位
心臓外科学実験研究	6 単位
呼吸器外科学セミナー	10 単位
呼吸器外科学実験研究	6 単位
小児外科学セミナー	10 単位
小児外科学実験研究	6 単位
泌尿器科学セミナー	10 単位
泌尿器科学実験研究	6 単位
整形外科学セミナー	10 単位
整形外科学実験研究	6 単位
リウマチ学セミナー	10 単位
リウマチ学実験研究	6 単位
人間拡張・手の外科学セミナー	10 単位
人間拡張・手の外科学実験研究	6 単位
皮膚科学セミナー	10 単位
皮膚科学実験研究	6 単位
形成外科学セミナー	10 単位
形成外科学実験研究	6 単位
麻酔・蘇生医学セミナー	10 単位
麻酔・蘇生医学実験研究	6 単位
臨床感染統御学セミナー	10 単位
臨床感染統御学実験研究	6 単位
救急・集中治療医学セミナー	10 単位
救急・集中治療医学実験研究	6 単位
手術医療学セミナー	10 単位
手術医療学実験研究	6 単位

細胞治療医学セミナー	10 単位	地域在宅医療学・老年科学セミナー	10 単位
細胞治療医学実験研究	6 単位	地域在宅医療学・老年科学実験研究	6 単位
病理組織医学セミナー	10 単位	周産母子医学セミナー	10 単位
病理組織医学実験研究	6 単位	周産母子医学実験研究	6 単位
光学医療学セミナー	10 単位	親と子どもの心療学セミナー	10 単位
光学医療学実験研究	6 単位	親と子どもの心療学実験研究	6 単位
放射線医療学セミナー	10 単位	総合医学教育学セミナー	10 単位
放射線医療学実験研究	6 単位	総合医学教育学実験研究	6 単位
画像情報診断・工学セミナー	10 単位	医療の質・患者安全学セミナー	10 単位
画像情報診断・工学実験研究	6 単位	医療の質・患者安全学実験研究	6 単位
小児科学セミナー	10 単位	国際医学教育学セミナー	10 単位
小児科学実験研究	6 単位	国際医学教育学実験研究	6 単位
発達・老年精神医学セミナー	10 単位	臨床研究教育学セミナー	10 単位
発達・老年精神医学実験研究	6 単位	臨床研究教育学実験研究	6 単位
産婦人科学セミナー	10 単位	総合小児医療学セミナー	10 単位
産婦人科学実験研究	6 単位	総合小児医療学実験研究	6 単位
総合診療医学セミナー	10 単位		
総合診療医学実験研究	6 単位		

統合医薬学領域科目

疾患制御学セミナー	10 単位	医療薬学セミナー	10 単位
疾患制御学実験研究	6 単位	医療薬学実験研究	6 単位
分子機能薬学セミナー	10 単位	化学療法学セミナー	10 単位
分子機能薬学実験研究	6 単位	化学療法学実験研究	6 単位
トキシコゲノミクスセミナー	10 単位	生物統計学セミナー	10 単位
トキシコゲノミクス実験研究	6 単位	生物統計学実験研究	6 単位

名古屋大学・アデレード大学国際連携総合医学専攻

(専門科目)

A 群科目

分子生物学セミナー	10 単位	分子遺伝学セミナー	10 単位
分子生物学実験研究	6 単位	分子遺伝学実験研究	6 単位
分子細胞化学セミナー	10 単位	データ駆動生物学セミナー	10 単位
分子細胞化学実験研究	6 単位	データ駆動生物学実験研究	6 単位
分子病原細菌学セミナー	10 単位	実験動物科学セミナー	10 単位
分子病原細菌学実験研究	6 単位	実験動物科学実験研究	6 単位
分子細胞免疫学セミナー	10 単位	統合生理学セミナー	10 単位
分子細胞免疫学実験研究	6 単位	統合生理学実験研究	6 単位
ウイルス学セミナー	10 単位	細胞生理学セミナー	10 単位
ウイルス学実験研究	6 単位	細胞生理学実験研究	6 単位
機能分子制御学セミナー	10 単位	分子細胞薬理学セミナー	10 単位
機能分子制御学実験研究	6 単位		

分子細胞薬理学実験研究	6 単位	国際保健医療学・公衆衛生学 実験研究	6 単位
神経情報薬理学セミナー	10 単位	医療行政学セミナー	10 単位
神経情報薬理学実験研究	6 単位	医療行政学実験研究	6 単位
分子腫瘍学セミナー	10 単位	健康栄養医学セミナー	10 単位
分子腫瘍学実験研究	6 単位	健康栄養医学実験研究	6 単位
腫瘍生物学セミナー	10 単位	健康スポーツ医学セミナー	10 単位
腫瘍生物学実験研究	6 単位	健康スポーツ医学実験研究	6 単位
分子神経科学セミナー	10 単位	精神病理学・精神療法学セミナー	10 単位
分子神経科学実験研究	6 単位	精神病理学・精神療法学実験 研究	6 単位
免疫代謝学セミナー	10 単位	健康運動科学セミナー	10 単位
免疫代謝学実験研究	6 単位	健康運動科学実験研究	6 単位
システム神経薬理学セミナー	10 単位	老化基礎科学セミナー	10 単位
システム神経薬理学実験研究	6 単位	老化基礎科学実験研究	6 単位
内分泌代謝学セミナー	10 単位	認知機能科学セミナー	10 単位
内分泌代謝学実験研究	6 単位	認知機能科学実験研究	6 単位
人類遺伝学セミナー	10 単位	老化疫学セミナー	10 単位
人類遺伝学実験研究	6 単位	老化疫学実験研究	6 単位
病態神経科学セミナー	10 単位	老化代謝科学セミナー	10 単位
病態神経科学実験研究	6 単位	老化代謝科学実験研究	6 単位
分子細胞学セミナー	10 単位	免疫不全統御学セミナー	10 単位
分子細胞学実験研究	6 単位	免疫不全統御学実験研究	6 単位
細胞生物学セミナー	10 単位	神経生化学セミナー	10 単位
細胞生物学実験研究	6 単位	神経生化学実験研究	6 単位
機能組織学セミナー	10 単位	がん記述疫学セミナー	10 単位
機能組織学実験研究	6 単位	がん記述疫学実験研究	6 単位
生体反応病理学セミナー	10 単位	がん分析疫学セミナー	10 単位
生体反応病理学実験研究	6 単位	がん分析疫学実験研究	6 単位
腫瘍病理学セミナー	10 単位	腫瘍遺伝学セミナー	10 単位
腫瘍病理学実験研究	6 単位	腫瘍遺伝学実験研究	6 単位
分子病理学セミナー	10 単位	がん病態生理学セミナー	10 単位
分子病理学実験研究	6 単位	がん病態生理学実験研究	6 単位
法医・生命倫理学セミナー	10 単位	がん分子病因学セミナー	10 単位
法医・生命倫理学実験研究	6 単位	がん分子病因学実験研究	6 単位
環境労働衛生学セミナー	10 単位	がんシステム情報学セミナー	10 単位
環境労働衛生学実験研究	6 単位	がんシステム情報学実験研究	6 単位
予防医学セミナー	10 単位	標的探索・治療学セミナー	10 単位
予防医学実験研究	6 単位	標的探索・治療学実験研究	6 単位
国際保健医療学・公衆衛生学 セミナー	10 単位		

細胞腫瘍学セミナー	10 単位	顎顔面外科学実験研究	6 単位
細胞腫瘍学実験研究	6 単位	腫瘍外科学セミナー	10 単位
がん免疫ゲノム学セミナー	10 単位	腫瘍外科学実験研究	6 単位
がん免疫ゲノム学実験研究	6 単位	血管外科学セミナー	10 単位
先端がん診断学セミナー	10 単位	血管外科学実験研究	6 単位
先端がん診断学実験研究	6 単位	消化器外科学セミナー	10 単位
先端がん標的治療学セミナー	10 単位	消化器外科学実験研究	6 単位
先端がん標的治療学実験研究	6 単位	乳腺・内分泌外科学セミナー	10 単位
応用ゲノム病理学セミナー	10 単位	乳腺・内分泌外科学実験研究	6 単位
応用ゲノム病理学実験研究	6 単位	移植外科学セミナー	10 単位
血液・腫瘍内科学セミナー	10 単位	移植外科学実験研究	6 単位
血液・腫瘍内科学実験研究	6 単位	心臓外科学セミナー	10 単位
循環器内科学セミナー	10 単位	心臓外科学実験研究	6 単位
循環器内科学実験研究	6 単位	呼吸器外科学セミナー	10 単位
消化器内科学セミナー	10 単位	呼吸器外科学実験研究	6 単位
消化器内科学実験研究	6 単位	小児外科学セミナー	10 単位
呼吸器内科学セミナー	10 単位	小児外科学実験研究	6 単位
呼吸器内科学実験研究	6 単位	泌尿器科学セミナー	10 単位
糖尿病・内分泌内科学 セミナー	10 単位	泌尿器科学実験研究	6 単位
糖尿病・内分泌内科学 実験研究	6 単位	整形外科学セミナー	10 単位
腎臓内科学セミナー	10 単位	整形外科学実験研究	6 単位
腎臓内科学実験研究	6 単位	人間拡張・手の外科学 セミナー	10 単位
量子医学セミナー	10 単位	人間拡張・手の外科学 実験研究	6 単位
量子医学実験研究	6 単位	皮膚科学セミナー	10 単位
臓器病態診断学セミナー	10 単位	皮膚科学実験研究	6 単位
臓器病態診断学実験研究	6 単位	形成外科学セミナー	10 単位
神経内科学セミナー	10 単位	形成外科学実験研究	6 単位
神経内科学実験研究	6 単位	麻酔・蘇生医学セミナー	10 単位
精神医学セミナー	10 単位	麻酔・蘇生医学実験研究	6 単位
精神医学実験研究	6 単位	救急・集中治療医学セミナー	10 単位
脳神経外科学セミナー	10 単位	救急・集中治療医学実験研究	6 単位
脳神経外科学実験研究	6 単位	臨床感染統御学セミナー	10 単位
眼科学セミナー	10 単位	臨床感染統御学実験研究	6 単位
眼科学実験研究	6 単位	細胞治療医学セミナー	10 単位
耳鼻咽喉科学セミナー	10 単位	細胞治療医学実験研究	6 単位
耳鼻咽喉科学実験研究	6 単位	光学医療学セミナー	10 単位
顎顔面外科学セミナー	10 単位	光学医療学実験研究	6 単位
		小児科学セミナー	10 単位

小児科学実験研究	6 単位	臨床研究教育学実験研究	6 単位
産婦人科学セミナー	10 単位	総合小児医療学セミナー	10 単位
産婦人科学実験研究	6 単位	総合小児医療学実験研究	6 単位
総合診療医学セミナー	10 単位	疾患制御学セミナー	10 単位
総合診療医学実験研究	6 単位	疾患制御学実験研究	6 単位
地域在宅医療学・老年科学 セミナー	10 単位	分子機能薬学セミナー	10 単位
地域在宅医療学・老年科学 実験研究	6 単位	分子機能薬学実験研究	6 単位
総合医学教育学セミナー	10 単位	トキシコゲノミクスセミナー	10 単位
総合医学教育学実験研究	6 単位	トキシコゲノミクス実験研究	6 単位
医療の質・患者安全学 セミナー	10 単位	医療薬学セミナー	10 単位
医療の質・患者安全学 実験研究	6 単位	医療薬学実験研究	6 単位
国際医学教育学セミナー	10 単位	化学療法学セミナー	10 単位
国際医学教育学実験研究	6 単位	化学療法学実験研究	6 単位
臨床研究教育学セミナー	10 単位	生物統計学セミナー	10 単位
		生物統計学実験研究	6 単位

B 群科目

基礎医学国際セミナー	10 単位	臨床医学国際セミナー	10 単位
基礎医学国際実験研究	2 単位	臨床医学国際実験研究	2 単位

(共通科目)

国際連携最先端医学特論	2 単位
-------------	------

名古屋大学・ルンド大学国際連携総合医学専攻

A 群科目

(講義科目)

国際連携最先端医学特論	2 単位	応用統計学	3 単位
-------------	------	-------	------

(演習・実習科目)

ポートフォリオ A	4 単位	機能分子制御学セミナー	10 単位
分子生物学セミナー	10 単位	機能分子制御学実験研究	6 単位
分子生物学実験研究	6 単位	分子遺伝学セミナー	10 単位
分子細胞化学セミナー	10 単位	分子遺伝学実験研究	6 単位
分子細胞化学実験研究	6 単位	データ駆動生物学セミナー	10 単位
分子病原細菌学セミナー	10 単位	データ駆動生物学実験研究	6 単位
分子病原細菌学実験研究	6 単位	実験動物科学セミナー	10 単位
分子細胞免疫学セミナー	10 単位	実験動物科学実験研究	6 単位
分子細胞免疫学実験研究	6 単位	老化基礎科学セミナー	10 単位
ウイルス学セミナー	10 単位	老化基礎科学実験研究	6 単位
ウイルス学実験研究	6 単位	認知機能科学セミナー	10 単位

認知機能科学実験研究	6 単位	機能組織学実験研究	6 単位
老化疫学セミナー	10 単位	細胞生物学セミナー	10 単位
老化疫学実験研究	6 単位	細胞生物学実験研究	6 単位
老化代謝科学セミナー	10 単位	生体反応病理学セミナー	10 単位
老化代謝科学実験研究	6 単位	生体反応病理学実験研究	6 単位
免疫不全統御学セミナー	10 単位	腫瘍病理学セミナー	10 単位
免疫不全統御学実験研究	6 単位	腫瘍病理学実験研究	6 単位
統合生理学セミナー	10 単位	分子病理学セミナー	10 単位
統合生理学実験研究	6 単位	分子病理学実験研究	6 単位
細胞生理学セミナー	10 単位	法医・生命倫理学セミナー	10 単位
細胞生理学実験研究	6 単位	法医・生命倫理学実験研究	6 単位
分子細胞薬理学セミナー	10 単位	環境労働衛生学セミナー	10 単位
分子細胞薬理学実験研究	6 単位	環境労働衛生学実験研究	6 単位
神経情報薬理学セミナー	10 単位	予防医学セミナー	10 単位
神経情報薬理学実験研究	6 単位	予防医学実験研究	6 単位
分子腫瘍学セミナー	10 単位	国際保健医療学・公衆衛生学セミナー	10 単位
分子腫瘍学実験研究	6 単位	国際保健医療学・公衆衛生学実験研究	6 単位
腫瘍生物学セミナー	10 単位	医療行政学セミナー	10 単位
腫瘍生物学実験研究	6 単位	医療行政学実験研究	6 単位
分子神経科学セミナー	10 単位	健康栄養医学セミナー	10 単位
分子神経科学実験研究	6 単位	健康栄養医学実験研究	6 単位
免疫代謝学セミナー	10 単位	健康スポーツ医学セミナー	10 単位
免疫代謝学実験研究	6 単位	健康スポーツ医学実験研究	6 単位
システム神経薬理学セミナー	10 単位	精神病理学・精神療法学セミナー	10 単位
システム神経薬理学実験研究	6 単位	精神病理学・精神療法学実験研究	6 単位
内分泌代謝学セミナー	10 単位	健康運動科学セミナー	10 単位
内分泌代謝学実験研究	6 単位	健康運動科学実験研究	6 単位
人類遺伝学セミナー	10 単位	がん記述疫学セミナー	10 単位
人類遺伝学実験研究	6 単位	がん記述疫学実験研究	6 単位
病態神経科学セミナー	10 単位	がん分析疫学セミナー	10 単位
病態神経科学実験研究	6 単位	がん分析疫学実験研究	6 単位
神経生化学セミナー	10 単位	腫瘍遺伝学セミナー	10 単位
神経生化学実験研究	6 単位	腫瘍遺伝学実験研究	6 単位
分子細胞学セミナー	10 単位	がん病態生理学セミナー	10 単位
分子細胞学実験研究	6 単位	がん病態生理学実験研究	6 単位
機能組織学セミナー	10 単位	がん分子病因学セミナー	10 単位

がん分子病因学実験研究	6 単位	脳神経外科学実験研究	6 単位
がんシステム情報学セミナー	10 単位	眼科学セミナー	10 単位
がんシステム情報学実験研究	6 単位	眼科学実験研究	6 単位
標的探索・治療学セミナー	10 単位	耳鼻咽喉科学セミナー	10 単位
標的探索・治療学実験研究	6 単位	耳鼻咽喉科学実験研究	6 単位
細胞腫瘍学セミナー	10 単位	顎顔面外科学セミナー	10 単位
細胞腫瘍学実験研究	6 単位	顎顔面外科学実験研究	6 単位
がん免疫ゲノム学セミナー	10 単位	腫瘍外科学セミナー	10 単位
がん免疫ゲノム学実験研究	6 単位	腫瘍外科学実験研究	6 単位
先端がん診断学セミナー	10 単位	血管外科学セミナー	10 単位
先端がん診断学実験研究	6 単位	血管外科学実験研究	6 単位
先端がん標的治療学セミナー	10 単位	消化器外科学セミナー	10 単位
先端がん標的治療学実験研究	6 単位	消化器外科学実験研究	6 単位
応用ゲノム病理学セミナー	10 単位	乳腺・内分泌外科学セミナー	10 単位
応用ゲノム病理学実験研究	6 単位	乳腺・内分泌外科学実験研究	6 単位
血液・腫瘍内科学セミナー	10 単位	移植外科学セミナー	10 単位
血液・腫瘍内科学実験研究	6 単位	移植外科学実験研究	6 単位
循環器内科学セミナー	10 単位	心臓外科学セミナー	10 単位
循環器内科学実験研究	6 単位	心臓外科学実験研究	6 単位
消化器内科学セミナー	10 単位	呼吸器外科学セミナー	10 単位
消化器内科学実験研究	6 単位	呼吸器外科学実験研究	6 単位
呼吸器内科学セミナー	10 単位	小児外科学セミナー	10 単位
呼吸器内科学実験研究	6 単位	小児外科学実験研究	6 単位
糖尿病・内分泌内科学セミナー	10 単位	泌尿器科学セミナー	10 単位
糖尿病・内分泌内科学実験研究	6 単位	泌尿器科学実験研究	6 単位
腎臓内科学セミナー	10 単位	整形外科科学セミナー	10 単位
腎臓内科学実験研究	6 単位	整形外科科学実験研究	6 単位
量子医学セミナー	10 単位	人間拡張・手の外科学セミナー	10 単位
量子医学実験研究	6 単位	人間拡張・手の外科学実験研究	6 単位
臓器病態診断学セミナー	10 単位	皮膚科学セミナー	10 単位
臓器病態診断学実験研究	6 単位	皮膚科学実験研究	6 単位
神経内科学セミナー	10 単位	形成外科学セミナー	10 単位
神経内科学実験研究	6 単位	形成外科学実験研究	6 単位
精神医学セミナー	10 単位	麻酔・蘇生医学セミナー	10 単位
精神医学実験研究	6 単位	麻酔・蘇生医学実験研究	6 単位
脳神経外科学セミナー	10 単位	臨床感染統御学セミナー	10 単位

臨床感染統御学実験研究	6 単位	国際医学教育学セミナー	10 単位
救急・集中治療医学セミナー	10 単位	国際医学教育学実験研究	6 単位
救急・集中治療医学実験研究	6 単位	臨床研究教育学セミナー	10 単位
細胞治療医学セミナー	10 単位	臨床研究教育学実験研究	6 単位
細胞治療医学実験研究	6 単位	総合小児医療学セミナー	10 単位
光学医療学セミナー	10 単位	総合小児医療学実験研究	6 単位
光学医療学実験研究	6 単位	疾患制御学セミナー	10 単位
小児科学セミナー	10 単位	疾患制御学実験研究	6 単位
小児科学実験研究	6 単位	分子機能薬学セミナー	10 単位
産婦人科学セミナー	10 単位	分子機能薬学実験研究	6 単位
産婦人科学実験研究	6 単位	トキシコゲノミクスセミナー	10 単位
総合診療医学セミナー	10 単位	トキシコゲノミクス実験研究	6 単位
総合診療医学実験研究	6 単位	医療薬学セミナー	10 単位
地域在宅医療学・老年科学セミナー	10 単位	医療薬学実験研究	6 単位
地域在宅医療学・老年科学実験研究	6 単位	化学療法学セミナー	10 単位
総合医学教育学セミナー	10 単位	化学療法学実験研究	6 単位
総合医学教育学実験研究	6 単位	生物統計学セミナー	10 単位
医療の質・患者安全学セミナー	10 単位	生物統計学実験研究	6 単位
医療の質・患者安全学実験研究	6 単位		

B 群科目

(講義科目)

研究方法論入門	2 単位	選択講義	1 単位
研究倫理	2 単位	科学コミュニケーション	1 単位
口頭伝達	1 単位		

(演習・実習科目)

ポートフォリオ B	4 単位	臨床医学国際セミナー	10 単位
基礎医学国際セミナー	10 単位	臨床医学国際実験研究	2 単位
基礎医学国際実験研究	2 単位		

名古屋大学・フライブルク大学国際連携総合医学専攻

A 群科目

(講義科目)

国際連携最先端医学特論	2 単位		
-------------	------	--	--

(演習・実習科目)

分子生物学セミナー	10 単位	分子細胞化学実験研究	6 単位
分子生物学実験研究	6 単位	分子病原細菌学セミナー	10 単位
分子細胞化学セミナー	10 単位	分子病原細菌学実験研究	6 単位

分子細胞免疫学セミナー	10 単位	免疫代謝学セミナー	10 単位
分子細胞免疫学実験研究	6 単位	免疫代謝学実験研究	6 単位
ウイルス学セミナー	10 単位	システム神経薬理学セミナー	10 単位
ウイルス学実験研究	6 単位	システム神経薬理学実験研究	6 単位
機能分子制御学セミナー	10 単位	内分泌代謝学セミナー	10 単位
機能分子制御学実験研究	6 単位	内分泌代謝学実験研究	6 単位
分子遺伝学セミナー	10 単位	人類遺伝学セミナー	10 単位
分子遺伝学実験研究	6 単位	人類遺伝学実験研究	6 単位
データ駆動生物学セミナー	10 単位	病態神経科学セミナー	10 単位
データ駆動生物学実験研究	6 単位	病態神経科学実験研究	6 単位
実験動物科学セミナー	10 単位	神経生化学セミナー	10 単位
実験動物科学実験研究	6 単位	神経生化学実験研究	6 単位
老化基礎科学セミナー	10 単位	分子細胞学セミナー	10 単位
老化基礎科学実験研究	6 単位	分子細胞学実験研究	6 単位
認知機能科学セミナー	10 単位	機能組織学セミナー	10 単位
認知機能科学実験研究	6 単位	機能組織学実験研究	6 単位
老化疫学セミナー	10 単位	細胞生物学セミナー	10 単位
老化疫学実験研究	6 単位	細胞生物学実験研究	6 単位
老化代謝科学セミナー	10 単位	生体反応病理学セミナー	10 単位
老化代謝科学実験研究	6 単位	生体反応病理学実験研究	6 単位
免疫不全統御学セミナー	10 単位	腫瘍病理学セミナー	10 単位
免疫不全統御学実験研究	6 単位	腫瘍病理学実験研究	6 単位
統合生理学セミナー	10 単位	分子病理学セミナー	10 単位
統合生理学実験研究	6 単位	分子病理学実験研究	6 単位
細胞生理学セミナー	10 単位	法医・生命倫理学セミナー	10 単位
細胞生理学実験研究	6 単位	法医・生命倫理学実験研究	6 単位
分子細胞薬理学セミナー	10 単位	環境労働衛生学セミナー	10 単位
分子細胞薬理学実験研究	6 単位	環境労働衛生学実験研究	6 単位
神経情報薬理学セミナー	10 単位	予防医学セミナー	10 単位
神経情報薬理学実験研究	6 単位	予防医学実験研究	6 単位
分子腫瘍学セミナー	10 単位	国際保健医療学・	
分子腫瘍学実験研究	6 単位	公衆衛生学セミナー	10 単位
腫瘍生物学セミナー	10 単位	国際保健医療学・	
腫瘍生物学実験研究	6 単位	公衆衛生学実験研究	6 単位
分子神経科学セミナー	10 単位	医療行政学セミナー	10 単位
分子神経科学実験研究	6 単位	医療行政学実験研究	6 単位

健康栄養医学セミナー	10 単位	消化器内科学セミナー	10 単位
健康栄養医学実験研究	6 単位	消化器内科学実験研究	6 単位
健康スポーツ医学セミナー	10 単位	呼吸器内科学セミナー	10 単位
健康スポーツ医学実験研究	6 単位	呼吸器内科学実験研究	6 単位
精神病理学・精神療法学セミナー	10 単位	糖尿病・内分泌内科学セミナー	10 単位
精神病理学・精神療法学実験研究	6 単位	糖尿病・内分泌内科学実験研究	6 単位
健康運動科学セミナー	10 単位	腎臓内科学セミナー	10 単位
健康運動科学実験研究	6 単位	腎臓内科学実験研究	6 単位
がん記述疫学セミナー	10 単位	量子医学セミナー	10 単位
がん記述疫学実験研究	6 単位	量子医学実験研究	6 単位
がん分析疫学セミナー	10 単位	臓器病態診断学セミナー	10 単位
がん分析疫学実験研究	6 単位	臓器病態診断学実験研究	6 単位
腫瘍遺伝学セミナー	10 単位	神経内科学セミナー	10 単位
腫瘍遺伝学実験研究	6 単位	神経内科学実験研究	6 単位
がん病態生理学セミナー	10 単位	精神医学セミナー	10 単位
がん病態生理学実験研究	6 単位	精神医学実験研究	6 単位
がん分子病因学セミナー	10 単位	脳神経外科学セミナー	10 単位
がん分子病因学実験研究	6 単位	脳神経外科学実験研究	6 単位
がんシステム情報学セミナー	10 単位	眼科学セミナー	10 単位
がんシステム情報学実験研究	6 単位	眼科学実験研究	6 単位
標的探索・治療学セミナー	10 単位	耳鼻咽喉科学セミナー	10 単位
標的探索・治療学実験研究	6 単位	耳鼻咽喉科学実験研究	6 単位
細胞腫瘍学セミナー	10 単位	顎顔面外科学セミナー	10 単位
細胞腫瘍学実験研究	6 単位	顎顔面外科学実験研究	6 単位
がん免疫ゲノム学セミナー	10 単位	腫瘍外科学セミナー	10 単位
がん免疫ゲノム学実験研究	6 単位	腫瘍外科学実験研究	6 単位
先端がん診断学セミナー	10 単位	血管外科学セミナー	10 単位
先端がん診断学実験研究	6 単位	血管外科学実験研究	6 単位
先端がん標的治療学セミナー	10 単位	消化器外科学セミナー	10 単位
先端がん標的治療学実験研究	6 単位	消化器外科学実験研究	6 単位
応用ゲノム病理学セミナー	10 単位	乳腺・内分泌外科学セミナー	10 単位
応用ゲノム病理学実験研究	6 単位	乳腺・内分泌外科学実験研究	6 単位
血液・腫瘍内科学セミナー	10 単位	移植外科学セミナー	10 単位
血液・腫瘍内科学実験研究	6 単位	移植外科学実験研究	6 単位
循環器内科学セミナー	10 単位	心臓外科学セミナー	10 単位
循環器内科学実験研究	6 単位	心臓外科学実験研究	6 単位

呼吸器外科学セミナー	10 単位	総合診療医学セミナー	10 単位
呼吸器外科学実験研究	6 単位	総合診療医学実験研究	6 単位
小児外科学セミナー	10 単位	地域在宅医療学・	
小児外科学実験研究	6 単位	老年科学セミナー	10 単位
泌尿器科学セミナー	10 単位	地域在宅医療学・	
泌尿器科学実験研究	6 単位	老年科学実験研究	6 単位
整形外科学セミナー	10 単位	総合医学教育学セミナー	10 単位
整形外科学実験研究	6 単位	総合医学教育学実験研究	6 単位
人間拡張・手の外科学セミナー	10 単位	医療の質・患者安全学セミナー	10 単位
人間拡張・手の外科学実験研究	6 単位	医療の質・患者安全学実験研究	6 単位
皮膚科学セミナー	10 単位	国際医学教育学セミナー	10 単位
皮膚科学実験研究	6 単位	国際医学教育学実験研究	6 単位
形成外科学セミナー	10 単位	臨床研究教育学セミナー	10 単位
形成外科学実験研究	6 単位	臨床研究教育学実験研究	6 単位
麻酔・蘇生医学セミナー	10 単位	総合小児医療学セミナー	10 単位
麻酔・蘇生医学実験研究	6 単位	総合小児医療学実験研究	6 単位
臨床感染統御学セミナー	10 単位	疾患制御学セミナー	10 単位
臨床感染統御学実験研究	6 単位	疾患制御学実験研究	6 単位
救急・集中治療医学セミナー	10 単位	分子機能薬学セミナー	10 単位
救急・集中治療医学実験研究	6 単位	分子機能薬学実験研究	6 単位
細胞治療医学セミナー	10 単位	トキシコゲノミクスセミナー	10 単位
細胞治療医学実験研究	6 単位	トキシコゲノミクス実験研究	6 単位
光学医療学セミナー	10 単位	医療薬学セミナー	10 単位
光学医療学実験研究	6 単位	医療薬学実験研究	6 単位
小児科学セミナー	10 単位	化学療法学セミナー	10 単位
小児科学実験研究	6 単位	化学療法学実験研究	6 単位
産婦人科学セミナー	10 単位	生物統計学セミナー	10 単位
産婦人科学実験研究	6 単位	生物統計学実験研究	6 単位

B 群科目

(演習・実習科目)

基礎医学国際セミナー	10 単位
基礎医学国際実験研究	2 単位
臨床医学国際セミナー	10 単位
臨床医学国際実験研究	2 単位

名古屋大学大学院通則及び名古屋大学学位規程は、名古屋大学のホームページで閲覧できます。

名古屋大学大学院通則

https://education.joureikun.jp/thers_ac/act/frame/frame11000002.htm



名古屋大学学位規程

https://education.joureikun.jp/thers_ac/act/frame/frame110000284.htm



博士課程・修士課程の組織体制

Academic Organizational Structure of the Doctoral Course and Master's Course

名古屋大学大学院医学系研究科は、昭和30年に設置された。この研究科は生理系（7講座）、病理系（3講座）、社会医学系（4講座）、内科系（7講座）、外科系（7講座）の計5専攻、28講座で構成され医学研究者等を育成して今日に至った。しかし、21世紀の先端医学と高度医療を担う人材を養成することを目的に、旧来の閉鎖的な小講座制による学部主導の研究体制から、先端化・多様化した現代医学に即する複数の基幹専門分野と広域連携分野を含む大講座制と可塑性に富む新しい専攻を基礎とする大学院主導の包括的かつ開放的な研究体制へと改組すべく、平成10年度から3年次計画で大学院機構の整備を行い、平成12年度に4専攻から成る新博士課程（平成16年度から医学博士課程に名称変更）の体制が確立した。また平成13年度には医科学専攻（修士課程）を設置した。平成25年度に統合医薬学関連講座の創設に伴い、領域融合型教育研究の推進を目的として4専攻を1専攻に統合し、基礎医学領域・臨床医学領域・統合医薬学領域の3領域を設置した。

The Graduate School of Medicine at Nagoya University was established in 1955. The school initially consisted of 5 departments with 28 courses: Physiology (7 courses), Pathology (3 courses), Social Medicine (4 courses), Internal Medicine (7 courses), and Surgery (7 courses), and has continued to nurture medical researchers to this day. However, with the aim of training personnel who will be responsible for advanced medicine and high-level medical care in the 21st century, the school underwent a reorganization. From 1998, a three-year plan was implemented to restructure the graduate school, moving away from the traditional closed, small-lecture system led by the undergraduate school, toward a more comprehensive and open research system led by the graduate school. This new system was based on a large-lecture format that included multiple core specialized fields and broad collaborative fields suitable for modern medicine's advanced and diversified nature, along with new, flexible majors. In 2000, a new doctoral course (renamed to Medical Doctoral Course in 2004) consisting of 4 departments was established. In 2001, the Department of Medical Science for Master's course was also founded. In 2013, accompanying the creation of some pharmacological science divisions, the 4 departments were consolidated into a single one to promote interdisciplinary education and research, establishing three areas: Basic Medicine, Clinical Medicine, and Clinical Pharmacology.

博士課程 総合医学 Doctoral Course Department of Integrated Medicine (平成25年度設置) Established in 2013	修士課程 医科学 Master's Course Department of Medical Science (平成13年度設置) Established in 2001
---	--

I 博士課程 Doctoral Course

1. 総合医学専攻 Department of Integrated Medicine	入学定員 Admission	151名
2. 名古屋大学・アデレード大学国際連携総合医学専攻 International Collaborative Program in Comprehensive Medical Science Between Nagoya University and Adelaide University	入学定員 Admission	4名
3. 名古屋大学・アデレード大学国際連携総合医学専攻 International Collaborative Program in Comprehensive Medical Science Between Nagoya University and Lund University	入学定員 Admission	4名
4. 名古屋大学・フライブルク大学国際連携総合医学専攻 International Collaborative Program in Comprehensive Medical Science Between Nagoya University and the University of Freiburg	入学定員 Admission	2名

II 修士課程 Master's Course

1. 医科学専攻 Department of Medical Science	入学定員 Admission	20名
--	----------------	-----

基礎医学領域 Basic Medicine Area

大講座名 Field	専門分野 Division	専門分野長 Division Head
生物化学 Biological Chemistry	分子生物学 Molecular Biology	教授 Prof. 島田 緑 SHIMADA, Midori
微生物・免疫学 Microbiology and Immunology	分子細胞化学 Molecular and Cellular Biology	
	分子病原細菌学 Bacteriology	教授 Prof. 柴山 恵吾 SHIBAYAMA, Keigo
	分子細胞免疫学 Immunology	教授 Prof. 西川 博嘉 NISHIKAWA, Hiroyoshi
	ウイルス学 Virology	准教授 Associate Prof. 佐藤 好隆 SATO, Yoshitaka
先端応用医学(協力) Advanced Medical Science	機能分子制御学 Molecular Biochemistry 附属神経疾患・腫瘍分子医学研究センター 先端応用医学部門	教授 Prof. 岡島 徹也 OKAJIMA, Tetsuya
	分子遺伝学 Molecular Genetics 附属神経疾患・腫瘍分子医学研究センター 神経疾患病態統御部門	教授 Prof. 中沢 由華 NAKAZAWA, Yuka
	機能再生医学 Functional Regenerative Medicine 附属神経疾患・腫瘍分子医学研究センター 先端応用医学部門	
	データ駆動生物学 Data-driven Biology 附属神経疾患・腫瘍分子医学研究センター 細胞情報統合解析部門	教授 Prof. 本田 直樹 HONDA, Naoki
実験動物科学(協力) Laboratory Animal Science	実験動物科学 Laboratory Animal Science 附属医学教育研究支援センター 実験動物部門	
細胞科学 Cell Science	統合生理学 Integrative Physiology	教授 Prof. 中村 和弘 NAKAMURA, Kazuhiro
	細胞生理学 Cell Physiology	教授 Prof. 久場 博司 KUBA, Hiroshi
	分子細胞薬理学 Molecular and Cellular Pharmacology	
神経科学(協力) Neuroscience	神経情報薬理学 Neuropharmacology 附属神経疾患・腫瘍分子医学研究センター 神経疾患病態統御部門	教授 Prof. 深田 正紀 FUKATA, Masaki
腫瘍病態学(協力) Oncology	分子腫瘍学 Molecular Oncology 附属神経疾患・腫瘍分子医学研究センター 神経疾患病態統御部門	教授 Prof. 鈴木 洋 SUZUKI, Hiroshi
	腫瘍生物学 Cancer Biology 附属神経疾患・腫瘍分子医学研究センター 神経疾患病態統御部門	教授 Prof. 近藤 豊 KONDO, Yutaka
高次神経統御学(協力) Higher Nervous Control	分子神経科学 Molecular / Cellular Neuroscience 環境医学研究所	教授 Prof. 竹本さやか TAKEMOTO, Sayaka
	免疫代謝学 Immunometabolism 環境医学研究所	教授 Prof. 菅波 孝祥 SUGANAMI, Takayoshi
器官系機能調節学(協力) Regulation of Organ Function	システム神経薬理学 Systems Neuropharmacology 環境医学研究所	教授 Prof. 笠井 淳司 KASAI, Atsushi
	内分泌代謝学 Endocrinology 環境医学研究所	教授 Prof. 林 良敬 HAYASHI, Yoshitaka
分子・細胞適応学(協力) Molecular and Cellular Adaptation	人類遺伝学 Human Genetics 環境医学研究所	教授 Prof. 荻 朋男 OGI, Tomoo
	病態神経科学 Neuroscience and Pathobiology 環境医学研究所	教授 Prof. 山中 宏二 YAMANAKA, Koji
機能形態学 Anatomy and Cell Biology	分子細胞学 Molecular Cell Biology	教授 Prof. 和氣 弘明 WAKE, Hiroaki
	機能組織学 Functional Anatomy and Neuroscience	教授 Prof. 桐生寿美子 KIRYU, Sumiko
	細胞生物学 Cell Biology	教授 Prof. 宮田 卓樹 MIYATA, Takaki
病理病態学 Pathology	生体反応病理学 Pathology and Biological Responses	准教授 Associate Prof. 岡崎 泰昌 OKAZAKI, Yasumasa
	腫瘍病理学 Tumor Pathology	
発生・再生医学(協力) Development	分子病理学 Molecular Pathology 附属神経疾患・腫瘍分子医学研究センター 先端応用医学部門	教授 Prof. 榎本 篤 ENOMOTO, Atsushi
社会生命科学 Social Life Science	法医・生命倫理学 Legal Medicine and Bioethics	教授 Prof. 石井 晃 ISHII, Akira
	環境労働衛生学 Occupational and Environmental Health	教授 Prof. 加藤 昌志 KATO, Masashi
	予防医学 Preventive Medicine	教授 Prof. 若井 建志 WAKAI, Kenji
	国際保健医療学・公衆衛生学 Public Health and Health Systems	教授 Prof. 八谷 寛 YATSUYA, Hiroshi
	医療行政学 Healthcare Administration	教授 Prof. 山本 英子 YAMAMOTO, Eiko
健康増進医学(協力) Health Promotion Medicine	健康栄養医学 Human Nutrition 総合保健体育科学センター	教授 Prof. 石黒 洋 ISHIGURO, Hiroshi
	健康スポーツ医学 Sports Medicine 総合保健体育科学センター	教授 Prof. 山本 明子 YAMAMOTO, Akiko
	精神病理学・精神療法学 Psychopathology and Psychotherapy 総合保健体育科学センター	教授 Prof. 岡田 暁宜 OKADA, Akiyoshi
	健康運動科学 Exercise and Sports Physiology 総合保健体育科学センター	教授 Prof. 石田 浩司 ISHIDA, Koji
		教授 Prof. 片山 敬章 KATAYAMA, Keisho

大講座名 Field	専門分野 Division	専門分野長 Division Head
老化基礎科学(連携) Aging Research	老化基礎科学 国立長寿医療研究センター	Molecular Aging Research 連携教授 Adjunct Prof. 尾崎 浩一 OZAKI, Koichi
	認知機能科学 国立長寿医療研究センター	Cognitive Function Research 連携教授 Adjunct Prof. 島田 裕之 SHIMADA, Hiroyuki
	老化疫学 国立長寿医療研究センター	Epidemiology of Aging 連携教授 Adjunct Prof. 大塚 礼 OTSUKA, Rei
	老化代謝科学 国立長寿医療研究センター	Aging and Metabolic Research 連携教授 Adjunct Prof. 浅原 哲子 ASAHARA, Noriko
免疫不全統御学(連携) HIV and AIDS	免疫不全統御学 国立病院機構名古屋医療センター	HIV and AIDS 連携准教授 Adjunct Associate Prof. 今橋 真弓 IMAHASHI, Mayumi
神経生化学(連携) Neurochemistry	神経生化学 愛知県医療療育総合センター発達障害研究所	Neurochemistry 連携教授 Adjunct Prof. 浅井 真人 ASAI, Masato
		連携教授 Adjunct Prof. 増田 章男 MASUDA, Akio
がん疫学・遺伝学講座 (連携) Cancer Epidemiology and Prevention	がん記述疫学 愛知県がんセンター研究所	Descriptive Cancer Epidemiology 連携教授 Adjunct Prof. 伊藤 秀美 ITO, Hidemi
	がん分析疫学 愛知県がんセンター研究所	Cancer Epidemiology 連携教授 Adjunct Prof. 松尾恵太郎 MATSUO, Keitaro
	腫瘍遺伝学 愛知県がんセンター研究所	Cancer Genetics
がん分子病因・病態学 講座(連携) Cancer Pathobiology and Informatics	がん病態生理学 愛知県がんセンター研究所	Cancer Physiology 連携教授 Adjunct Prof. 青木 正博 AOKI, Masahiro
	がん分子病因学 愛知県がんセンター研究所	Molecular and Cellular Oncology
	がんシステム情報学 愛知県がんセンター研究所	Cancer Informatics 連携教授 Adjunct Prof. 山口 類 YAMAGUCHI, Rui
がん先端診断・治療 開発学講座(連携) Cancer Diagnostics and Therapeutics	標的探索・治療学 愛知県がんセンター研究所	Target and Drug Discovery 連携教授 Adjunct Prof. 小根山千歳 ONEYAMA, Chitose
	細胞腫瘍学 愛知県がんセンター研究所	Cellular Oncology 連携教授 Adjunct Prof. 鍋倉 幸 NABEKURA, Tsukasa
	がん免疫ゲノム学 愛知県がんセンター研究所	Cancer Immunogenomics
	先端がん診断学 愛知県がんセンター研究所	Advanced Cancer Diagnostics
	先端がん標的治療学 愛知県がんセンター研究所	Advanced Cancer Therapeutics 連携教授 Adjunct Prof. 衣斐 寛倫 EBI, Hiromichi
	応用ゲノム病理学 愛知県がんセンター研究所	Translational Molecular Pathology

名古屋大学では、知識基盤社会をリードする卓越した博士人材育成をめざし、世界のトップ大学との研究ネットワークを基盤とした国際共同プログラムを推し進めています。医学系研究科の博士課程には、海外連携大学との研究ネットワークを基盤とした以下複数の国際共同学位プログラムが設立・運営されています。学生は海外有名大学を含む2つの大学・研究室に在籍することで研究テーマを多面的な観点から検討・議論し、同時に異なる文化、生活様式等を体験することが可能であり、問題を解決するコミュニケーション能力とマネジメント能力を身につけることが期待されます。

・ジョイントディグリープログラム(国際連携総合医学専攻)

本学及び海外連携大学との間で開設された単一の教育プログラムで、修了要件を満たした際に連携する2大学が共同で単一の学位(博士)を授与するもの。通常と同じ4年間の大学院在籍期間において、12ヶ月以上の連携大学への留学を必要とします。同一の論文を各大学の学位論文とすることが可能です。現在オーストラリア・アデレード大学、スウェーデン・ルンド大学、ドイツ・フライブルク大学との3つの国際連携総合医学専攻が開設・運営されています。総合医学専攻とは異なる独立した専攻ですが、総合医学専攻1年次への入学後、所定の審査を経て国際連携総合医学専攻への転専攻が可能です。

・ダブルディグリープログラム

本学及び海外連携大学において、各大学が開設した教育プログラムを修了し各大学の学位取得要件を満たした際に、各大学がそれぞれ学位(博士)を授与するものです。連携大学で修得した学業単位が最大10単位まで認定され、連携大学への12ヶ月以上の留学と両大学へそれぞれ異なる学位論文の提出を必要とします。現在医学系研究科総合医学専攻と香港中文大学医学部博士課程との間で1プログラムが開設されています。

詳しくは以下ホームページをご参照ください。内容、詳細については、医学系研究科国際医学教育学(国際連携室)へお問合せください。

ジョイントディグリープログラム

<https://www.med.nagoya-u.ac.jp/jdp/>

医学系研究科国際医学教育学(国際連携室)

<https://www.med.nagoya-u.ac.jp/intlexch/japanese/education/international.html>

臨床医学領域 Clinical Medicine Area

大講座名 Field	専門分野 Division	専門分野長 Division Head	
病態内科学 Internal Medicine	血液・腫瘍内科学 Hematology and Oncology	教授 Prof. 清井 仁 KIYOI, Hitoshi	
	循環器内科学 Cardiology	准教授 Associate Prof. 因田 恭也 INDEN, Yasuya	
	消化器内科学 Gastroenterology	教授 Prof. 川嶋 啓揮 KAWASHIMA, Hiroki	
	呼吸器内科学 Respiratory Medicine	教授 Prof. 石井 誠 ISHII, Makoto	
	糖尿病・内分泌内科学 Endocrinology and Diabetes	教授 Prof. 有馬 寛 ARIMA, Hiroshi	
	腎臓内科学 Nephrology	教授 Prof. 丸山 彰一 MARUYAMA, Shoichi	
高次医用科学 High-Technology Application of Medicine	量子医学 Radiology	教授 Prof. 長縄 慎二 NAGANAWA, Shinji	
	量子介入治療学 Interventional and Therapeutic Radiology		
	放射線治療学 Radiation Oncology		
	臓器病態診断学 Pathology and Laboratory Medicine	教授 Prof. 加留部謙之輔 KARUBE, Kennosuke	
	病態構造解析学 Diagnostic Pathology		
脳神経病態制御学 Clinical Neurosciences	がん薬物療法学 Clinical Oncology and Chemotherapy		
	神経内科学 Neurology	教授 Prof. 勝野 雅央 KATSUNO, Masahisa	
	精神医学 Psychiatry	教授 Prof. 池田 匡志 IKEDA, Masashi	
	脳神経外科学 Neurosurgery	教授 Prof. 齋藤 竜太 SAITO, Ryuta	
	脳神経先端医療開発学 Frontier Surgical Neuroscience		
頭頸部・感覚器外科学 Head and Neck and Sensory Organ Medicine	脳血管内治療学 Endovascular Neurosurgery		
	眼科学 Ophthalmology	教授 Prof. 西口 康二 NISHIGUCHI, Koji	
	感覚器障害制御学 Protective Care for Sensory Disorders		
	耳鼻咽喉科学 Otorhinolaryngology	准教授 Associate Prof. 吉田 忠雄 YOSHIDA Tadao	
病態外科学 Surgery	顎顔面外科学 Maxillofacial Surgery	教授 Prof. 日比 英晴 HIBI, Hideharu	
	腫瘍外科学 Surgical Oncology	教授 Prof. 江畑 智希 EBATA, Tomoki	
	血管外科学 Vascular and Endovascular Surgery	教授 Prof. 坂野比呂志 BANNNO, Hiroshi	
	消化器外科学 Gastroenterological Surgery	教授 Prof. 神田 光郎 KANDA, Mitsuro	
	乳腺・内分泌外科学 Breast and Endocrine Surgery	教授 Prof. 永橋 昌幸 NAGAHASHI, Masayuki	
	移植外科学 Transplantation Surgery		
	心臓外科学 Cardiac Surgery	教授 Prof. 六鹿 雅登 MUTSUGA, Masato	
	呼吸器外科学 Thoracic Surgery	教授 Prof. 芳川 豊史 YOSHIKAWA, Toyofumi	
	小児外科学 Pediatric Surgery	教授 Prof. 内田 広夫 UCHIDA, Hiroo	
	泌尿器科学 Urology	教授 Prof. 赤松 秀輔 AKAMATSU, Shusuke	
	運動・形態外科学 Musculoskeletal and Cutaneous Surgery	整形外科学 Orthopaedics	教授 Prof. 今釜 史郎 IMAGAMA, Shiro
		リウマチ学 Rheumatology	
		人間拡張・手の外科学 Human Enhancement & Hand Surgery	教授 Prof. 山本美知郎 YAMAMOTO, Michiro
皮膚科学 Dermatology		准教授 Associate Prof. 武市 拓也 TAKEICHI Takuya	
形成外科学 Plastic and Reconstructive Surgery		教授 Prof. 橋川 和信 HASHIKAWA, Kazunobu	
生体管理医学 Biomedical Regulation	麻酔・蘇生医学 Anesthesiology	教授 Prof. 秋山 浩一 AKIYAMA, Koichi	
	臨床感染統御学 Infectious Diseases	教授 Prof. 八木 哲也 YAGI, Tetsuya	
	救急・集中治療医学 Emergency and Critical Care Medicine	教授 Prof. 松田 直之 MATSUDA, Naoyuki	
病態医療学(協力) Clinical Management Medicine	手術医療学 Operation Medicine 病院 手術部		
	細胞治療医学 Cell Therapy Medicine 病院 輸血部		
	病理組織医学 Anatomical Pathology 病院 病理部		
	光学医療学 Diagnostic and Therapeutic Endoscopy 病院 光学医療診療部		
	放射線医療学 Clinical Radiology 病院 放射線部		
(情報)	画像情報診断・工学 Diagnostic Medical Image Processing	教授 Prof. 森 健策 MORI, Kensaku	

大講座名 Field	専門分野 Division	専門分野長 Division Head
発育・加齢医学 Medicine in Growth and Aging	小児科学 Pediatrics	教授 Prof. 高橋 義行 TAKAHASHI, Yoshiyuki
	発達・老年精神医学 Developmental and Geriatric Psychiatry	
	地域在宅医療学・老年科学 Community Healthcare and Geriatrics	教授 Prof. 梅垣 宏行 UMEGAKI, Hiroyuki
	産婦人科学 Obstetrics and Gynecology	教授 Prof. 梶山 広明 KAJIYAMA, Hiroaki
総合診療医学 General Medicine		
周産母子医学(協力) Maternal and Perinatal Care	周産母子医学 Maternal and Perinatal Care 病院 周産母子センター	
親と子どもの精神医学(協力) Psychiatry for Parents and Children	親と子どもの心療学 Psychiatry for Parents and Children 病院 親と子どもの診療科	
総合管理医学 Comprehensive Management Medicine	総合医学教育学 Medical Education 医学部附属総合医学教育センター	教授 Prof. 錦織 宏 NISHIGORI, Hiroshi
	医療の質・患者安全学 Quality and Patient Safety 病院 医療の質・安全管理部	教授 Prof. 長尾 能雅 NAGAO, Yoshimasa
	国際医学教育学 International Medical Education 国際連携室	教授 Prof. 粕谷 英樹 KASUYA, Hideki
	臨床研究教育学 Clinical Research Education	教授 Prof. 橋詰 淳 HASHIZUME, Atsushi
総合小児医療学(連携) Comprehensive Pediatric Medicine	総合小児医療学 Comprehensive Pediatric Medicine あいち小児保健医療総合センター	連携教授 Adjunct Prof. 鬼頭 浩史 KITO, Hiroshi
		連携准教授 Adjunct Associate Prof. 糸見 和也 ITOMI, Kazuya

統合医薬学領域 Clinical Pharmacology Area

大講座名 Field	専門分野 Division	専門分野長 Division Head
分子医薬学(協力) Molecular Pharmacology	疾患制御学 Disease Control 環境医学研究所	教授 Prof. 仲矢 道雄 NAKAYA, Michio
	分子機能薬学 Molecular Pharmaco-Biology 環境医学研究所	教授 Prof. 益谷 央豪 MASUTANI, Chikahide
	トキシコゲノミクス Toxicogenomics	
臨床医薬学 Clinical Pharmacology	医療薬学 Neuropsychopharmacology and Hospital Pharmacy	教授 Prof. 池末 裕明 IKESUE, Hiroaki
	化学療法学 Clinical Oncology and Chemotherapy	教授 Prof. 安藤 雄一 ANDO, Yuichi
	生物統計学 Biostatistics	准教授 Associate Prof. 橋本 大哉 HASHIMOTO, Hiroya

本研究科との協定機関

・名城大学	客員教授 Visiting Prof. 野田 幸裕 NODA, Yukihiko
	客員教授 Visiting Prof. 岡本 浩一 OKAMOTO, Hirokazu
	客員教授 Visiting Prof. 灘井 雅行 NADAI, Masayuki
・大学共同利用機関法人 自然科学研究機構 生理学研究所	
・独立行政法人 医薬品医療機器総合機構	客員教授 Visiting Prof. 宇山 佳明 UYAMA, Yoshiaki
・大学共同利用機関法人 情報システム研究機構 統計数理研究所	
・ノバルティスファーマ株式会社	
・アステラス製薬株式会社	

名古屋大学 鶴舞キャンパスマップ

F: 基礎研究棟 別館

- 5F 共済団/大学院自治会室/産業医室
- 心の相談室
- 4F 実習室2(生化学/微生物/免疫/法医)
- 3F 実習室1(生理/薬理)
- 2F サテラミトラボ/編入学生室
- 学生セミナー室1~8/研究室
- 1F 法医解剖室/解剖準備室
- ハラスメント相談センター

D: 福利施設

- 3F 部室棟
- 2F 部室棟
- 1F 生協書籍

C: 外来棟

- 4F 医療システム管理係
- /電子カルテ管理室
- 病歴管理室
- 事務部
- 経理課
- 人事労務課
- 施設管理グループ
- 経営企画課

A: 中央診療棟 A棟

- 3F 産科婦人科
- 泌尿器科
- 齒科口腔外科
- 皮膚科/形成外科
- 外科/麻酔科
- 授乳室・キッズコーナー
- 集団指導室

B: 中央診療棟 B棟

- 2F 精神科/親子子どもの心療科
- 小児科/小児外科
- 耳鼻いんこう科
- 内科/放射線科
- 移植連携室

L: 医系研究棟 1号館

- 1F 病診連携受付/初診受付/会計コーナー
- 総合案内
- 地域連携・患者相談センター
- 眼科
- 脳神経外科
- 整形外科/リウマチ科/手の外科
- 三菱UFJ銀行 ATM

G: 基礎研究棟

- 4F ヘルボート
- 事務部(総務課)/看護部
- 先端医療・臨床研究支援センター
- 救急・内科系集中治療部
- 5F 手術部/チャート講習室
- 4F 患者安全推進部/血液浄化部
- 臨床工学技術部/材料部
- 3F 総合周産期母子医療センター
- 講堂/会議室
- 検査部/輸血部/病理部
- 中央感染制御部(ICT)
- 内視鏡洗浄室
- 2F 放射線部(MRI検査室)/中央採血室
- 総合診療科外来/移植外科医局
- 総合医学教育センター
- 卒後臨床研修・キャリア形成支援センター
- 検査部(生理機能検査等)
- 栄養管理部(栄養食事指導室)
- リハビリテーション部(言語療法室)
- 事務部(医事課)
- 1F メディカルITセンター
- 放射線部(X線撮影室)/救急科外来
- 入院案内センター/時間外窓口/防災センター
- B1F 放射線部(アイソトープ検査室)
- 先端医療・臨床研究支援センター

M: 医系研究棟 2号館

- 7F 環境労働衛生学/国際保健医療学・公衆衛生学
- 6F 医療行政学(VLP)/呼吸器外科学
- 細胞生理学(生理学第一)/統合生理学(生理学第二)
- 予防医学
- 5F 分子細胞免疫学/腫瘍生物学/データ駆動生物学
- 4F 分子病態細菌学/分子遺伝学/神経情報薬理学
- 3F ウイルス学/分子生物学(化学第一)
- 分子細胞化学(生化学第二)
- 2F 生体反応病理学(第一解部)/腫瘍病理学(第二解部)
- 分子細胞学(第一解部)
- 1F 機能組織学(第二解部)/細胞生物学(第三解部)
- 法医学・生命倫理学

N: 医系研究棟 3号館

- 10F 先端医療・臨床研究支援センター
- 9F 雷附講座・プロジェクトスペース
- 8F 外・雷附講座・プロジェクト
- 7F 生物統計学/プロジェクトスペース雷附講座
- 6F ライブラリ/プロジェクトスペース雷附講座
- 5F 分子腫瘍学
- 糖鎖生命コア研究所
- 外・プロジェクトスペース
- 医学教育研究支援センター(分析機器部門)
- 4F 医学教育研究支援センター(分析機器部門)
- 3F 組織・病理実習室/臨床研究教育学
- 解剖教育施設
- 2F 解剖教育施設
- 1F アイソトープ総合センター分館
- B1F アイソトープ総合センター分館

L: 医系研究棟 1号館

- 13F 小児外科/形成外科/皮膚科
- 12F 整形外科/リウマチ科/耳鼻いんこう科
- 11F 眼科/歯科口腔外科
- 10F 精神科/脳神経外科
- 9F 消化器内科/腎臓内科/神経内科
- 8F 放射線科/臨床感染制御学/化学療法部
- 7F 臓器病態診断学/血液内科/循環器内科
- 6F 産婦人科/内分泌内科/呼吸器内科/老年内科
- 5F 糖尿病/小児科
- 4F 麻酔科/泌尿器科
- 3F 消化器・腫瘍外科(肝胆臓)
- (旧称:消化器外科(腫瘍外科/血管外科)/心臓外科)
- 2F 救急・集中治療医学/消化器・腫瘍外科(消化室)
- (旧称:消化器外科(乳腺・内分泌外科/移植外科))
- 1F 薬剤部/総合診療科/コンビニエンスストア
- B1F 手の外科/大会議室

M: 医系研究棟 2号館

- 7F 環境労働衛生学/国際保健医療学・公衆衛生学
- 6F 医療行政学(VLP)/呼吸器外科学
- 細胞生理学(生理学第一)/統合生理学(生理学第二)
- 予防医学
- 5F 分子細胞免疫学/腫瘍生物学/データ駆動生物学
- 4F 分子病態細菌学/分子遺伝学/神経情報薬理学
- 3F ウイルス学/分子生物学(化学第一)
- 分子細胞化学(生化学第二)
- 2F 生体反応病理学(第一解部)/腫瘍病理学(第二解部)
- 分子細胞学(第一解部)
- 1F 機能組織学(第二解部)/細胞生物学(第三解部)
- 法医学・生命倫理学

Z: 鶴友会館

- 2F 学生会
- 大会議室/小会議室
- 1F レ스토랑/鶴友

B: 中央診療棟 B棟

- 6F 会議室
- 5F 手術室
- 4F 外科系集中治療部
- 3F 消化器内科(中央診療棟病棟)
- 2F メディカルXRセンター/光学医学科診療部
- 1F メディカルXRセンター/外来化学療法室
- B1F 放射線治療室B

W: 病棟西側(W)

- 14F 家族浴室
- 13F 消化器・腫瘍外科(肝胆臓)/消化器内科
- 12F 循環器内科/血管外科
- 11F 消化器・腫瘍外科(肝胆臓)
- 消化器・腫瘍外科(消化管)
- 10F 泌尿器科/腎臓内科/移植外科
- 9F 耳鼻いんこう科/形成外科/化学療法部
- 麻酔科
- 8F 会議室/職員休憩室
- 7F 脳神経外科/乳腺・内分泌外科
- 6F 小児循環器/移植外科(小児)
- 脳神経外科(小児)
- 5F 小児科
- 4F 産科/総合周産期母子医療センター(生殖周産期部門・新生児部門)
- 3F 心臓外科/放射線科/Ri治療室
- 循環器内科
- 2F 精神科/親子子どもの心療科
- 1F 薬剤部
- B1F 栄養管理部/給食施設

E: 病棟東側(E)

- 14F 家族浴室
- 13F 消化器・腫瘍外科(肝胆臓)/消化器内科
- 12F 循環器内科/血管外科
- 11F 消化器・腫瘍外科(肝胆臓)
- 消化器・腫瘍外科(消化管)
- 10F 泌尿器科/腎臓内科/移植外科
- 9F 耳鼻いんこう科/形成外科/化学療法部
- 麻酔科
- 8F 会議室/職員休憩室
- 7F 脳神経外科/乳腺・内分泌外科
- 6F 小児循環器/移植外科(小児)
- 脳神経外科(小児)
- 5F 小児科
- 4F 産科/総合周産期母子医療センター(生殖周産期部門・新生児部門)
- 3F 心臓外科/放射線科/Ri治療室
- 循環器内科
- 2F 精神科/親子子どもの心療科
- 1F 薬剤部
- B1F 栄養管理部/給食施設

N: 医系研究棟 3号館

- 10F 先端医療・臨床研究支援センター
- 9F 雷附講座・プロジェクト
- 8F 外・雷附講座・プロジェクト
- 7F 生物統計学/プロジェクトスペース雷附講座
- 6F ライブラリ/プロジェクトスペース雷附講座
- 5F 分子腫瘍学
- 糖鎖生命コア研究所
- 外・プロジェクトスペース
- 医学教育研究支援センター(分析機器部門)
- 4F 医学教育研究支援センター(分析機器部門)
- 3F 組織・病理実習室/臨床研究教育学
- 解剖教育施設
- 2F 解剖教育施設
- 1F アイソトープ総合センター分館
- B1F アイソトープ総合センター分館

